_										
75	車士	業名	621	99	飛騨あさひイベント開催事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線
-	# >	未乜	枝番		水幹のでいれていた用作争未	担当床			初口又加 圣监性未际	3632
		会記	+	1	一般会計	<sub>仏</sub> 特	0	Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
Ŧ		款	7	6	商工費	位置付置付		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	\$	項	ij	2	観光費	(+ 昇		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	ſ	目		1	観光振興費	ິ'		D	その他事業	
7	<b>卢</b> 县	長の糸	東	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有 資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとする 関係者をはじめ、地域住民などの関係 図ります。	るため、飛	騨±	也域	の民間組織と行政、観光	

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	観光客	受益者数	不特定多数
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	地域資源を最大に生かした観光イベントの開催により、付大を図ることが出来る。	注民とのふれあい	い、交流人口の増
概要	事業の 実施手法 (手段)	美女高原水芭蕉祭り、秋神川アマゴ釣り大会、すずらん ブinあさひ、氷点下の森氷祭り(事業実施団体への負担		J、クリスタルライ -
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント	リピーターへの紹介ハガキの発送やインターネットを使っ	ったPRの拡大を図	15.

# 2 事業の推移・結果(Do) 指標名 単位 目標・実績 H21 H23見込 H24計画

				拍标石	#1	2   12 13	录"夫祺	П21	l '	722	FZ3元	<u> </u>	口24部 四
		<b>1</b>	イベント回	31 兆			標値	7		6		6	
	ij	•	11.12112	= 3%			績値	7		6		6	-
	活動	算品	出根拠等	イベント開催数		達原	<b>贞率</b> (%)	100		100	1	00	-
	指標			指標名	単位	位 目標	票∙実績	H21	ı	H22	H23見	込	H24計画
		2				E	標値						
		Ď				実	績値						-
成 果		算	出根拠等			達月	<b>贞率</b> (%)						-
面				指標名	単位	立 目標	票・実績	H21	ı	H22	H23見	込	H24計画
		(1)	交流人口	<b>Д</b> П		E	標値	9,178		9,178	9,2	200	10,000
	成	•	文/// 八口			実	績値	6,694		8,678	8,9	900	-
	人果指標	算は	出根拠等	イベント開催時の入込数		達用	<b>贞率</b> (%)	73		95	95 97		-
		指標名		単位	立 目標	票・実績	H21	ı	H22	H23見	込	H24計画	
		2				E	標値						
		_				実	績値						-
		算	出根拠等			達月	<b>贞率</b> (%)						-
			(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H2 決算		H22 決算見込	額	H2 予算		実	H24 施計画額
				歳出 (千円)	(A)	-	12,959	12,4	198		12,500		11,230
	財	受护	益者負担(	(使用料・負担金等)									
П	源内	その	の他特定原	財源(国·県支出金·起債等 -	)								
スト	訳	— 角	设財源			-	12,959	12,4	198		12,500		11,230
面				指標名		H2	21	H22		H23 <sub>.</sub>	見込	H	124計画
	コス	(1)	受益者1	件当たり(円)(A	A/B)		1,936	1,	440		1,404		1,389
	ト指	•	受益者	交流人口	(B)		6,694	8,	678		8,900		9,000
	標	2											
		算	出根拠等										

	3	分	折•評価(Check)						
ı			評価項目		評価基準	評価	評価内	容の説明など	
I			事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		<ul><li>・当地域は国道361・</li></ul>	早線の通行豊が	年ヵ浦小
l		1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	А	ている状況にあり、数	女々のイベント開作	崔は賑わいを
l			達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない		取り戻す意味で重要	な役割を果たし	にいる。
l	必		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		matricoulds	1+T11+ /*	·
ı	要	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	А	・四季折々の地域風は民も憩いの場・交流	<b>充の場であり、体</b>	
ľ	性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している	1	については良い反響	ි ( න්ත ං	
l				<b>A</b> (2)	市民全体におよぶ				
l		3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	В	<ul><li>各種イベントを通じてれつつある。</li></ul>	て地元産業との-	-体性が生ま
l				<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される				
I				<b>A</b> (2)	十分に達成している (100%以上	=)			
l		4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上	:) B	・集客数が年々増えて	て来ている。	
l			ZEX NOTICE 78	<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満	<b>\$</b> )			
l	成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である				
ı	果	(5)	めの手法・活動内容の有	B (1)	概ね有効である	В	<ul><li>広報、Hitnet、インタ いてPRする事が有効</li></ul>		の手段を用
l	面		効性	<b>C</b> (0)	見直しが必要である				
l			事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている				
l		6	の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	<ul><li>イベントの内容にメリ要がある。</li></ul>	リハリがある様に	工夫する必
l			対応	<b>C</b> (0)	対応していない	1			
ľ				A (2)	課題はない・解消されている		明されたくがいしの	ろわ合のたかで	担掛ナ小さ
l		7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・限られたイベントの: くすることなく行ってい	いるが、材料費等	
	コス			<b>C</b> (0)	対応していない		り厳しい状態にある。		
l	ト 面			<b>A</b> (2)	適正である				
l	ш	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	В	・誘客1人あたり1,000	0円以内までコス	トを下げる
l				<b>C</b> (0)	改善が必要である				
	成果			A (4)	適正である				
ı	対コ	9	成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	・投入コストに見あった	た成果が上がっ <sup>・</sup>	ている。
	スト		1. 56 0 - 5 //6/10/2012/0	<b>C</b> (0)	改善が必要である				
			合計		14.0 / 20.0	10	00点換算	70	/100

### 4 今後の方向性(Action 1)

維持·改善

	0	維持•改善		拡大		縮小		廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•PR	方法を増やし、内	容を植	<b>食討しながら中身</b>	の充写	実したイベントとす	<sup>-</sup> る。		

0

縮小

廃止の検討

完了

拡大

一久时间/	削期間終了を見据	負担金の段階的 地域への波及効 <b>身</b>			的に縮	引していく必要

議会からの

提言等

#### 5 予管編成(Action 2) ※予管要求時記λ

<u> ၁</u>	了昇編队(Action2)	<u> </u>	可配八			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	12,500	11,230	Δ 1,270	10,100	10,100
	国庫支出金					
財	県支出金					
源 内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	12,500	11,230	△ 1,270	10,100	10,100

予算要求 の概要	イベント開催負担金
要求額增減理由	自主開催に向けた事業内容とするため

平成26年度まで継続し、事業の必要性や効果を考慮しながら、自主開催が可能になる様に検 討していく。

### ②本庁所管課 (観光課)

地域振興特別予算が平成26年度までの時限的制度であることから、今後、段階的に自己負担 割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直す必要がある。

#### 地域政策課

合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や 地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証 する必要がある。

	地域振興計画どおりとする
財務部査定 の考え方	
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事	業名	621 枝 番	99	ふるさと体験事業 (グリーン・ツーリズム推進)	担当課	担当課 朝日支所 基盤産業課							
	事業名 技術 会計 款	+	1	一般会計	<sub>/-</sub> 特	0	Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事				
予	一		6	商工費	世別置之		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業				
算	算 項		2	観光費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年度					
	目		1	観光振興費	"		D	その他事業					
市	市長の約束		1	積極的な観光振興策を実施します ・飛騨高山の自然環境を利用したグリー温泉や高山で作られた高品質の食材を自分だけの製品をつくるクラフトツーリー産業と一体となった新たな旅行スタイノ	を使った^ ズム(モノ	、ル. づく	スツ りの	ーリズム(健康に良い旅行)、 D旅行)など、地元の					

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	T-7K*7   17   17	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	誰を(対象)	観光客	受益者数	不特定多数
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	・都市住民との心の交流をとおしてグリーン・ツーリズム 女性等の生きがいづくりを推進する。	活動、地元産業の	)潤いと高齢者・
概要	事業の 実施手法 (手段)	龍巌山ミニ登山、御岳登山と自然観察会, すずらん大根村交流プロジェクト事業に向けた調査・研究・実施	と野菜のオーナー	ー、子ども農山漁
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント	・地域内外への啓蒙活動		

				指標:	名		単位	t 目標·実績	H21	H	122	H23見	込	H24計画
		① 体験	/ A' >	人同物			回	目標値	4		4		4	
	江	山神鄉	1112	7ト回数			Ш	実績値	4		4		4	
	活動	算出根技	u等 (	本験イベ	ント回数	Ţ		達成率(%)	100		100	1	00	-
	指標			指標	名		単位	拉 目標·実績	H21	ŀ	122	H23見	込	H24計画
		2						目標値						
								実績値						-
成 果 -		算出根	心等					達成率(%)						-
面				指標	名		単位	立 目標·実績	H21	ŀ	122	H23見	込	H24計画
		① 体験	イベン	小参加:	各		人	目標値	150		300		00	60
	<del>L</del>	U PANADA	., .,	1 9 711	Ħ			実績値	122		330	4	150	55
	成果	算出根	』等 ·	イベント間	開催時の	)入込数		達成率(%)	81		110		90	-
	指標			指標	名		単位	拉 目標·実績	H21	H	122	H23見	込	H24計画
		2						目標値						
								実績値						-
		算出根	u等					達成率(%)						-
		(人作	‡費を	事業	費 <mark>逑•補正</mark> ₹	を含む)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H2 予算		実	H24 施計画額
			j	歳出 (=	千円)	(	(A)	815	8	800		800		80
	74.1	受益者的	負担(1	使用料•∶	負担金等	等)								
<b>-</b>	源内	その他特	宇定財	源(国•!	県支出金	ὰ•起債等)								
スト	訳	一般財活	亰					815	8	800		800		80
面				指標	票名			H21	H22		H23 <sub>.</sub>	見込	H	124計画
	コス	受益	者1件	当たり	(円)	(A	/B)	6,680	2,	424		1,778		1,4
	ト 指	受	益者			(	(B)	122		330		450		5
	担標	2											_	

		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など	
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		<ul><li>・土地の特色を生かした体験イベントを行う事によ</li></ul>	
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	Α	り、産業の振興と体験講師の育成等地域活性化が図れる。	
		達成に結びつくか	C (0)	結びつかない		が図れてる。	
ıΝ		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している			
要	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	Α	・集客の手段として、期待されている。	
性		か	C (0)	少ない、減少している			
		事業効果が市民全体に 及ぶか	A (2)	市民全体におよぶ			
	3		B (1)	既ね市民全体におよぶ	В	・体験講師(高齢者・女性)の生きがいづくりとして、育成に努めている。	
			C (0) 7	わずかな受益者に限定される	]		
			A (2)	十分に達成している (100%以上)	)		
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1)	既ね達成している (75%以上)	В	・各事業とも集客が増えている。	
		~,	C (0)	あまり順調でない (75%未満	)		
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である			
果	(5)	めの手法・活動内容の有	B (1)	既ね有効である	В	・集客力は伸びて来ている。更にリピーターの確保 する事が有効となる。	
面		効性	C (0)	見直しが必要である	1		
		事業実施における課題 の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	A (2)	課題はない・解消されている		・体験型交流事業の主導的活動組織として活動し	
	<b>6</b>		B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	ている。 ・今後とも地元への啓蒙活動により、協力者を <sup>は</sup>	
		対応	C (0) 3	対応していない	1	やす必要がある。	
			A (2)	課題はない・解消されている			
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・限られた補助金により行っているが、集客数の場により経費がかさむ傾向にある。	
コス			C (0)	対応していない			
ト 面			A (2)	適正である			
_	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	既ね適正である	В	・誘客1人あたり1,000円以内までコストを下げる	
			C (0)	改善が必要である			
成果			A (4)	適正である			
対 コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	既ね適正である	Α	・投入コストに見あった成果が上がっている。	
スト			C (0)	改善が必要である			
_				14.0 / 20.0	10	0点換算 70 /100	

4 今後の方向性(Action 1)

維持·改善

	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•PR7	方法を増やし、内:	容を検	食討しながら中身(	の充写	実したイベントとす	<sup>-</sup> る。		

・地域主体の事業とすべく、補助金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要 がある。

0

縮小

廃止の検討

完了

拡大

5	<u> </u>	※	可記入			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	800	800	0	800	800
	国庫支出金					
財	県支出金					
源 内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	800	800	0	800	800

	予算要求 の概要	朝日地域の豊かな自然を活用した体験・交流イベントの開催に対する助成								
	要求額 増減理由									
	①支所									
	・地域住民の高齢化による後継者の育成 ・地域内外への紹介(インターネットの活用:ブログ等)									
事業	②本庁所管課(観光課)									
業実施の課題	持続可能な事業となるよう運営主体の強化を図る必要がある。									
	地域政策課									
	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や 地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証 する必要がある。									

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
市長査定の考え方	財務部調整どおり

事	事業名		99	スズランカップJrクロスカントリー	担当課			朝日支所 地域振興課	内線	
7	<b>木山</b>	枝 番		大会開催事業	123杯 初口又仍 地域派9		初日久川。它次派共称	3610		
	会	#	1	一般会計			Α	A 合併前から実施されているイベント		
予	款	7	9	教育費	特 位別 置予		В	一般予算の上乗せとして実施されている事		
算	項		5	保健体育費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年度		
	E		1	体育総務費			D	その他事業		
市:	長の糸	力束								

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	市民及び競技選手	受益者数							
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	・県内唯一のジュニア対象のクロスカントリー大会を開催し競技力向上と青少年の健 或を目指す								
概要	事業の 実施手法 (手段)	期 日 平成24年2月第2日曜日 会 場 鈴蘭高原クロスカントリーコース 部 門 小学生・中学生・高校生の部(男女) 内 容	クロスカントリー	スキー(フリー)						
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント	・ジュニアの競技人口を増やすための、PR活動								

2 事業の推移・結果(Do)

				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	<u>₩</u> H24計画
		(1)	スズラン:	カップクロスカントリース	回	目標値	1	1		1 1
		U)	キー大会	の実施		実績値	1	1		1
曹	活動	算は	出根拠等	年一回	•	達成率(%)	100	100	10	0 –
才	指標			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2				目標値				
		·				実績値				-
成果面		算出根拠等				達成率(%)				-
面				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		① スズランカップクロスカントリース キー大会の実施			目標値	45	50	5	5 60	
	成				実績値	41	61	6	5 –	
J.	成 果 指	算出	出根拠等	参加者数		達成率(%)	91	122	11	8 –
<del> </del>	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2				目標値				
						実績値				-
		算品	出根拠等			達成率(%)				-
	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)					H21 決算額	H22 決算見込		23 算額	H24 実施計画額
				歳出 (千円)	(A)	500	5	000	500	500
		受	益者負担(	(使用料・負担金等)						
⊐ F	源内	その	の他特定則	財源(国·県支出金·起債等	:)					
スト	訳	— 甪	投財源			500	5	000	500	500
面				指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
1	コス	(1)	受益者1	件当たり(円)(ハ	4/B)	500,000	500,	000	500,000	500,000
	<b>L</b>		受益者	50	(B)	1		1	1	1
ŧ	指標	2								
		算	出根拠等	実施団体はボランティア	による化	£意団である				

	711	折•評価(Check) 評価項目		評価基準		評価	評価内	容の説明など	
	Π		A (2)	結びつく		F1.1E		つていく上で、地域の特色を活	
	1	事業の実施が市の総合 計画・市長公約等の目標	B (1)	 一部結びつく		А	かしたスポーツはインタ	ケー・ハイ・マー・ルスの行品をだ ターハイ、全中大会等の大会に な位置を占め、ジュニア選手	
		達成に結びつくか	C (0)	結びつかない			の育成のための重要		
.iv		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している	3		県内で開催される小学生から高校生までの大会 は、当大会のみであり、関係者からのニーズは い		
必要性	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある		В			
任		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している					
			<b>A</b> (2)	市民全体におよぶ					
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	<b>B</b> (1)	概ね市民全体におよぶ		С	競技の特質上参加者が特定される		
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定さ	れる				
		事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	<b>A</b> (2)	十分に達成している	(100%以上)		・県内唯一のジュニア対象の大会として、市内		
	4		<b>B</b> (1)	概ね達成している	(75%以上)	Α	確認しうることにより、	司に集い日頃の練習の成果を . 個々が次の目標を得ること	
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない	(75%未満)		ができ、成果目標を選	<b>主成している</b>	
成		成果向上・目的達成のた	<b>A</b> (2)	有効である			  ・県内唯一のジュニア	<sup>7</sup> 対象の大会として、市内の	
果面	(5)	めの手法・活動内容の有効性	<b>B</b> (1)	概ね有効である		Α		トの選手の活躍の場となって	
ш		<i>7</i> 011	<b>C</b> (0)	見直しが必要である					
		事業実施における課題 の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	<b>A</b> (2)	課題はない・解消されてに		・ジュニア選手数が減少しつつあり、多くの子供に			
	6			改善・工夫に取り組んでに	いる	В	興味をもってもらえるよう、参加募集の方法、成 の公表をできるだけ多くのメディアに提供してい		
		対応		対応していない					
		コスト縮減に向けた改	(=)	課題はない・解消されてし			・同時期に当地で盟係	<sub>崔される大会との経費分担に</sub>	
П	7	コスト縮減に向けた改 善・エ夫		改善・工夫に取り組んでし	1/2	Α	よりコスト縮小に取り		
スト				対応していない					
面	<u></u>	平共4件半十八0-71		適正である		A	・参加者の数に関わり	りなく、固定経費の変動はな	
	0	受益者1件当たりのコスト		概ね適正である  改善が必要である		^	く、事業の性格から半	川断して適正である	
成				適正である		l			
果 対	<b>(9</b> )	成果に対するコスト(人		概ね適正である		A	·ボランティアの任意	た成果が上がっている 団体に運営を委託している	
コス・	٧	件費も考慮)は適正か		改善が必要である			が、施設、備品の準備、報道への情報提供などは 市が行うべきである。		
7	_	<b>∆</b> =1	- (0)			10	<u> </u> 0点換算	90 /	
		合計		16.0 / 20.0			- 111 12 31	80 /100	

維持·改善O

次年度の 実施方針 (担当課評価) ・市内のクロスカントリースキー選手層の厚みを増すためには必要な大会では 〇 維持・改善 拡大 縮小 月								さであり今後も引き	き続き	実施する
							_	1		
	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了

廃止の検討

完了

総合評価

拡大

・スポーツ大会開催誘致のあり方についての検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要 がある。

議会からの 提言等			

<u> </u>	了异椭队(Action2)	<u> </u>	けんへ			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	500	500	0	500	500
	国庫支出金					
具						
がプログ						
割	<mark>そ</mark> の他					
	地域振興特別予算	500	500	0	500	500

	予算要求 の概要	クロスカントリー大会開催負担金						
	要求額 増減理由							
	①支所							
	競技人口が減少の傾向にあり、参加人数がそれに伴い減少している。今後当大会をより一層 選手にとって魅力的な大会となるよう、ポイント取得対象競技会に昇格する必要がある。							
事業	②本庁所管課(スポーツ振興課)							
事業実施の課題	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等 について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。							
	地域政策課							
	同上							

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
	財務部調整どおり
市長査定 の考え方	

事	業名 技	399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	担当課	朝		朝日支所地域振興課	内線 3621
	会計	1	一般会計	<sub>.</sub> .特		Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	款	3	民生費	世別置文	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	1	社会福祉費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3	老人福祉費	ິ'		D	その他事業	
市長の約束		5	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊 等への地域福祉体制を整備します。	急時の支	援	₹万	全にするため、独居老人、要技	護養者

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	受益者数	9,796 人
目的				
概要	事業の 実施手法 (手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える。 ラブに対し、福祉の向上のために助成し、老人クラブを通う。		
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント	老人クラブに加入しやすい体制の構築に向け、組織や活 等で検討中である。	s動の見直しを促	しており、役員会

# 2 事業の推移・結果(Do) 指標名

				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見辽	<u> </u>
		1	会員数		人	目標値	11,474	10,500	11,10	0 11,600
	江	<b>①</b>	五貝奴		<	実績値	11,474	10,405	9,79	6 -
	活動	算品	出根拠等	実績値/目標値		達成率(%)	100	99	8	- 8
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見辽	<u>H24計画</u>
		<b>②</b>	単位老人	クラブ数	人	目標値	159	150	15	0 143
		٠	<b>十四七八</b>	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	^	実績値	159	150	14	3 –
成果面		算品	出根拠等	実績値/目標値		達成率(%)	100	100	9	5 -
面				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見辽	<u> H24計画</u>
		1	加入率		%	目標値	46.8	42.0	43.0	44.0
	成		,,,,,		,,,	実績値	46.7	41.7	39.3	3 –
	果	算占	出根拠等	実績値/目標値		達成率(%)	100	99	9	1 -
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見辽	<u> </u>
		2				目標値				
						実績値				-
		算品	出根拠等			達成率(%)				_
	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)					H21 決算額	H22 決算見込		23 算額 :	H24 実施計画額
				歳出(千円) (	A)	420	4	20	420	420
	財	受益	益者負担(	(使用料・負担金等)						
П	源内	その	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			171	1	63	280	280
スト	訳	— 舟	<b>殳財源</b>			#VALUE!	2	:57	140	140
面				指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
	コス	(1)			/B)	618		633	637	637
	ト 指	)	受益者	朝日区会員数(4月1日現在)(	B)	680		663	659	659
	標	2								
		算	出根拠等							

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1	評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
(A)	1			11 Mar-1	шп	日		
(A)	1	事業の実施が市の総合	<b>A</b> (2)	結びつく		総合計画・市長公約に位置付けられ、高齢者を中心に地域住民が互いに支えあう仕組みとして、老人クラブの活動は、地域福祉体制づくりの一つで		
ıV.		計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	<b>B</b> (1)	一部結びつく	Α			
ıŽ.		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない		あり、有意義な政策である。 		
		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		高齢者の方が健康でいきいきとした生活を送るた		
要性	2	民のニーズの傾向はどう	<b>B</b> (1)	ある程度のニーズがある	Α	めに老人クラブ活動は重要な施策であり、老人クラブからの補助金の増額について、強い要望もあ		
11		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している		<b>a</b> .		
			<b>A</b> (2)	市民全体におよぶ				
(	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	<b>B</b> (1)	概ね市民全体におよぶ	В	健康で活躍する高齢者が増加することにより、地域の活性化につながる。		
			C (0)	わずかな受益者に限定される	]			
			A (2)	十分に達成している (100%以上)				
(		事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	В	近年の老人クラブ加入者の減少は、高齢者の趣味や考えの多様化したことによるものである。		
			C (0)	あまり順調でない (75%未満)	]			
成	(5)	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2)	有効である				
			B (1)	概ね有効である	В	高齢者が主体となって健康づくりや地域交流などの自主的な運営を支援している。		
Ш		幼生	<b>C</b> (0)	見直しが必要である				
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている				
(		の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	役員会等により、組織や活動の見直しに取り組んでいる。		
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない				
			A (2)	課題はない・解消されている				
	7	コスト縮減に向けた改善 善・工夫	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。		
コ ス			<b>C</b> (0)	対応していない				
ト 面			A (2)	適正である				
	8	受益者1件当たりのコスト	<b>B</b> (1)	概ね適正である	Α	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。		
			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
成果			A (4)	適正である				
対 コ ス	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。		
ス ト			C (0)	改善が必要である				
		合計		16.0 / 20.0	10	0点換算 80 /100		

### 4 今後の方向性(Action 1)

次年度の 実施方針 (担当課評価) ・ 本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら、事業継続し、活動の 育成と支援を行う。 ・ 地域振興特別予算(31399事業)の老人クラブ活動費補助金の一本化を図る。		0	維持•改善	拡大	縮小	廃止の検討		完了
	実施方針	育成	と支援を行う。				事業	継続し、活動の

〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止の検討 完了

・平成22年度事業評価において、老人クラブ(連合長寿会)の加入率は低下していることから、長寿会に加入しやすい体制の構築を促すなどの取組みが必要であるとの指摘をしているところであるが、連合長寿会に加盟し ない地区もあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、地域としての必要性も 含め、今後のあり方についても検討する必要がある。

議会からの 提言等

5	プ昇編成(Action2)	※	<b>守記人</b>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	420	420	0	420	420
	国庫支出金					
財	県支出金	280	280	0	280	280
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	140	140	0	140	140

予算要求 の概要	長寿会事務局設置に係る助成経費
要求額 増減理由	
①支所	
	を後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老
人クラブの活動をよ	り一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動

費補助金)へ移行する必要がある。

### ②本庁所管課 (高年介護課)

地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動をより一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動 費補助金)へ移行する必要がある。

#### 地域政策課

支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
古巨本空	財務部調整どおり
市長査定 の考え方	

事	事業名		99	市道登記用地測量事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線 3641
	会計	_	1	一般会計	<sub>位</sub> 特		Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	款		7	土木費	置別	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業
算	項		2	道路橋りょう費	计算		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	目		1	道路橋りょう総務費	''		D	その他事業	
市	長の約3	東							

1 事業の目的・概要(Plan)

_	ナネッロロール	2 (1 1411)		
	誰を(対象)		受益者数	
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	未登記路線の整備		
概要	事業の 実施手法 (手段)	市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成 地として高山市へ所有権移転登記を行う。	えし、所有者からる	寄付により道路用
前	「回の評価からの 改善・改革 のポイント			

				指標名	単位	Ⅰ 目標・実績	H21	H22	H23見辺	<u> </u>	
		<b>1</b>	正方坛珍	転登記筆数	筆	目標値	23	O		0 0	
	, T	0	別有惟物	料豆配丰奴	丰	実績値	23	0		0 –	
	活動	算は	出根拠等	登記室数/年		達成率(%)	100			-	
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見辽	<u> </u>	
		2				目標値					
		٧				実績値				-	
成果面		算出	出根拠等			達成率(%)				-	
不面				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見辺	<u> H24計画</u>	
		① 調査延長			m	目標値	50	1,200	56	1,000	
	成	•	M I E K			実績値	50	0		0 -	
	<b>ル果指</b>	算出根拠等 調査延長/		調査延長/年			100			-	
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見辺	H24計画	
						目標値					
						実績値				-	
		算品	出根拠等			達成率(%)				-	
			(人件費を	事業費 ・除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込		I23 算額	H24 実施計画額	
				歳出 (千円)	(A)	4,951	2,2	97	5,000	5,000	
	26.1	受护	益者負担(	使用料・負担金等)							
П	源内	その	り他特定則	オ源(国・県支出金・起債等	)						
ス ト	訳	— 角	设財源			4,951	2,2	97	5,000	5,000	
面				指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画	
	コス	(1)	受益者1件	‡当たり(円) (A	4/B)	215,261	#DIV	//0! 1,	000,000	#DIV/0!	
	ト指	•	受益者	登記筆数	(B)	23		0	5		
	指 標	2									
		算	出根拠等	なし	_						

3	分	折∙評価(Check)						
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
		事業の実施が市の総合	<b>A</b> (2)	結びつく				
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	С	・未登記路線の登記をおこなうものであり、総合計画、市長公約に位置付けられていない。		
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない	1			
必		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		・所有者個人の権利主張によるトラブルを防ぐた		
要性	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	В	めに所有権登記処理が必要だが、市民ニーズは		
性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している	]	高い。		
			A (2)	市民全体におよぶ		・所有者個人の権利主張によるトラブルを防ぐた		
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	Α	が所有相画人の権利主張によるアプレを励くだめに所有権登記処理が必要だが、市民に及ぶ効果は高い。		
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される		木は 同じ。		
			<b>A</b> (2)	十分に達成している (100%以上)				
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	С	・年度ごとの目標登記筆数はクリアしている。		
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)				
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である		・各支所担当者では事業に専念できず進捗率が延		
果面	⑤	めの手法・活動内容の有効性	B (1)	概ね有効である	С	びない。   専門課を設立し重点的に事業を進める必要があ		
山		XJ1±	<b>C</b> (0)	見直しが必要である		<b>a</b> .		
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている		・所有者が地元にいない場合、亡くなられている場		
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	С	合等の事項が発生した場合、短時間では登記で ない。		
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない				
			<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている	評価			
,	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	対象	・単価契約を本庁担当課でおこなっているため。		
ス			<b>C</b> (0)	対応していない	外			
ト 面			A (2)	適正である	評価			
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	対象	・受益者がないため。		
			<b>C</b> (0)	改善が必要である	外			
成果			<b>A</b> (4)	適正である				
対コス	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	В	標準単価積算であるため概ね適正である。		
スト			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
		合計		5.0 / 16.0	10	0点換算 31 /100		

4 今後の方向性(Action 1)

議会からの 提言等

維持·改善

次年度の 実施方針 (担当課評価)		ト登記の解消を遂行していくが、市全体の調整が必要であり、地域振興特別予算ではなく一般予算で 応すべきである。											
		維持·改善	0	拡大	縮小	廃止の検討	完了						
総合評価(二次評価)	•Н26	6までに重要路線	の未:	登記処理を解消で	できるよう取り組んでい	く必要がある。							

拡大

○ 廃止の検討

完了

<u> ၁</u>	了昇編队(Action2)	<u> </u>	付記八			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	5,000	5,000	0	5,000	5,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	5,000	5,000	0	5,000	5,000

	予算要求 の概要	・市道未登記用地の調査、測量、登記に要する費用									
	要求額 増減理由										
	①支所										
	・境界確認、相続等の課題があり、処理に時間を要する										
事業	②本庁所管課(維持課)										
事業実施の課題	市道未登記路線の処理については、年次計画に基づき積極的に業務委託を発注し未登記路 線の解消に努める必要がある										
	地域政策課										
	地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。										

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事	業名	941	99	花いっぱい運動推進事業	担当課			朝日支所 地域振興課	内線
-		枝 番		130 5 1310 (232) [212]					3634
	会		1	一般会計	<sub>位</sub> 特	0	Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	耖	7	9	教育費	位置付ける		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	į	4	社会教育費			С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	E		1	社会教育総務費			D	その他事業	
市:	市長の約束								

1 事業の目的・概要(Plan)

	事業の日町 個	i安(Fidii)						
	誰を(対象)	市民(朝日町)	受益者数	1,890 人				
自由		・花いっぱい運動に参加する町内会、地域社会教育団体などを広く募集し、希望する団体などに 花苗を配布し、朝日町内の景観保全を図る。 ・花壇作りを通して地域の子どもから高齢者まで一体となったコミュニケーションの場とする。						
相写	事業の 実施手法 (手段)	<ul> <li>・マリーゴルド(黄)25TR ・マリーゴールド(橙)20TR</li> <li>・日々草 4TR ・サルビア35TR</li> <li>・ケイトウ40TR ・チューリップ球根(赤2,100個 黄2,100個)</li> <li>・上記、花苗を希望する団体などへの配布。</li> </ul>						
Ī	前回の評価からの 改善・改革 のポイント							

活動指標	5	1		指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
動 指	5	1							H23見込		
動 指	5	U)	소 +ㅁ ㅁ /+	<u>-</u>		目標値	23	21		21	21
動 指	5 ,		参加団体	<b>X</b>	団体	実績値	23	21		25	-
指	JJ	算占	出根拠等	配布実績より	3	達成率(%)	100	100	1	19	-
<b>∤</b> ≡				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
lyk		2				目標値					
	ľ	۷				実績値					-
成果 一面	4 1	算出根拠等				達成率(%)					-
面	L			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
		1	参加団体	<del>,</del>	団体	目標値	23	21		21	21
成		(1) 多加四种			実績値	23	21	25		-	
果	₽ :	算出根拠等  配布実績より			達成率(%)	100	100	1	19	-	
指標	百票			指標名	単位	目標·実績	標·実績 H21		H23見	込	H24計画
		2				目標値					
		•				実績値					-
		算と	出根拠等			達成率(%)					-
			(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込		23 算額	H24 実施計画額	
				歳出(千円) (	(A)	616	6	01	680		680
財	7	受益	益者負担(	(使用料・負担金等)							
源 コ 内	<u>ק</u>	その	り他特定則	財源(国・県支出金・起債等)							
コスト	₽.	一角	设財源			616	6	01	680		680
面				指標名		H21	H22	H23	見込	ŀ	H24計画
コス		1)	受益者1	件当たり(円) (A	/B)	326	;	318	360		360
ト 指	<b>.</b>	•	受益者	市民(朝日町)	(B)	1,890	1,8	890	1,890		1,890
標	曹	2	参加団体	1団体当たり(円)		26,783	28,6	619	27,200		32,381
		算	出根拠等	事業費/参加団体							

		評価項目		評価基準	評価	評価内	容の説明など	
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく			生事業は総合計画、市長公科	
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	В	季の花々で彩られた	はないが、総合計画では、収親しみのある地域個性の創	
		達成に結びつくか	C (0)	結びつかない	1	出を目指しているため  業である。	か、その一環として重要な事	
必		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している			以前から実施しており数十年	
要性	2	民のニーズの傾向はどうか	B (1)	ある程度のニーズがある	В	テストなどにも積極的	また参加団体は花壇作りコン ルに応募しており、依然として	
11		70'	C (0)	少ない、減少している		ある程度のニーズがある。		
			A (2)	市民全体におよぶ		・事業効果は地域住民に限定されるが、		
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	С		活動の一環となっており、各	
			C (0)	わずかな受益者に限定される		四件(7) 件心(7)政(8)	11COX 27 CO "0"	
		**************************************	A (2)	十分に達成している (100%以上)				
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	Α		†画を上回る状況で推移して 票を十分に達成している。	
			C (0)	あまり順調でない (75%未満)				
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である	1	A-04-04-1-		
果面	(5)	めの手法・活動内容の有効性	B (1)	概ね有効である	В	・参加団体の掘り起こ ぐるみの活動となるよ	こしを随時実施しており、地域 う心掛けている。	
ш		MIT.	C (0)	見直しが必要である				
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている				
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる		<ul><li>特に課題はないと考えている。</li></ul>		
		対応	C (0)	対応していない				
		コスト縮減に向けた改		課題はない・解消されている	1		女など効果的な活動となるよ	
	7	善・工夫		改善・工夫に取り組んでいる	В	改善に取り組んでい		
スト				対応していない				
面				適正である	-		ıた親しみのある地域個性 <i>の</i>	
	(8)	受益者1件当たりのコスト		概ね適正である	В	創出を目指す一環と  のコストは適正である	して、参加団体1団体当たり らと考えている。	
成				改善が必要である 	<u> </u>			
果対	•	成果に対するコスト(人		適正である		・投入コストに見合っ	た成果が上がっていると考え	
コス	9	件費も考慮)は適正か		概ね適正である 	В	でいる。		
۲			C (0)		10	│ ∩占協質		
		合計		11.0 / 20.0	10	0点換算	55 / <sub>100</sub>	

4 今後の方向性(Action 1)

維持·改善

	0	維持·改善		拡大		縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•内容	字の見直しを図りが	ながら	、より一層充実し	た活	動を実施する。		

拡大

(金合評価 - 次評価) ・「花いっぱい運動」に対しては、当該地域振興予算のほか、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)が直接・間接に助成されており、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方を再検討するとともに、事業費規模などについても検討する必要がある。

0

縮小

廃止の検討

完了

議会からの 提言等

5	予昇編成(Action2)	※	<b>守記人</b>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	680	680	0	680	680
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	680	680	0	680	680

	予算要求 の概要	花苗・球根の購入にかかる経費						
	要求額 増減理由							
	①支所							
	参加団体の減少							
事業	②本庁所管課(市民活動推進課)							
事業実施の課題	地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されており、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。 現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係 を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との 関係等を整理する必要がある。							
	地域政策課	地域政策課						
	同上							

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
	財務部調整どおり
市長査定 の考え方	

車	業名	946	699	ひだ朝日伝統文化祭助成事業	担当課			朝日支所 地域振興課	内線			
7	サイコー枝番				T I				3634			
	会計		1	一般会計	<sub>位</sub> 特	0	Α	合併前から実施されているイベント・行う 一般予算の上乗せとして実施されている事				
			9	教育費	置置		В					
算	項	ij	4	社会教育費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業			
	目	目 6 文化振興		文化振興費	່"	D		その他事業				
市	市長の約束		9	伝統文化を守り、次代へ継承します 芸術文化の振興を積極的に支えます 心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出 にも繋がる芸術文化活動をさらに浸透 新たな芸術文化の創出のための予算	きせ、広	げて	いく	ために、芸術文化の保存と継				

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	T-7K*7			
	誰を(対象)	市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	・伝統芸能、伝統工芸の貴重な地域文化を後世に残する り地域文化への理解と連帯感の醸成を図る。 ・観光資源の活用による地域間交流を図る。	ともに広域的な	イベント開催によ
概要	事業の 実施手法 (手段)	・「ひだ朝日伝統文化祭」を毎年、秋季に開催する。 ・H23年度 10月16日(日)に開催予定 事業実施主体 朝日地区社会教育推進協議会		
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント			

			指標名	单	位	目標·実績	H21	H22	H23見	.込	H24計画
		① 参加者(	<b>本担孝</b> /		ı	目標値	500	50	00	500	50
	<b>'</b> T	①  参加省(:	术场白)		人	実績値	500	50	00	500	-
- 1	活動	算出根拠等	来場者集計より	•		達成率(%)	100	10	00	100	-
	指標		指標名	单	位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
		2				目標値					
						実績値					-
戊 果 –		算出根拠等				達成率(%)					-
面			指標名	単	位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
		① 来場者			人	目標値	500	50	00	500	50
	랎	, x-3, L				実績値	500	50	00	500	-
:	成果	算出根拠等	来場者集計より			達成率(%)	100	10	00	100	-
	指標		指標名	单	位	目標·実績	H21	H22	H23見	.込	H24計画
		2				目標値					
						実績値					-
1		算出根拠等				達成率(%)					-
		(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む	)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H23 5算額	実	H24 施計画額
L			歳出 (千円)	(A)		880	8	00	800		80
- 1	74.1	受益者負担(	(使用料・負担金等)								
- I	源内	その他特定則	財源(国・県支出金・起債	責等)							
スト	訳	一般財源				800	8	00	800		80
面			指標名			H21	H22	H	23見込	ŀ	H24計画
	コス	受益者1.	人当たり(円)	(A/B)	)	10		9	9		
	ト 指	受益者	市民(4月1日現在)	(B)		93,312	93,	312	93,312		93,30
	標	② 来場者1	人当たり(円)			1,760	1,	600	1,600		1,60
		算出根拠等	事業費/来場者数								

3	分	分析•評価(Check)								
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など				
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		・地域文化振興事業は、いずれも総合計画、市長				
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	В	公約に位置付けられ、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上でも重要である。				
		達成に結びつくか	C (0)	結びつかない		には云州又北の創山を図る上でも里安でめる。				
必		事業の実施に対する市 民のニーズの傾向はどう か	A (2)	非常に多い、急増している		・例年、「ひだ朝日伝統文化祭」は盛況に開催され				
要性			B (1)	ある程度のニーズがある	В	ており、地域等の芸術文化に触れる貴重な場と考えている。				
生		ית	C (0)	少ない、減少している		7. (1.0)				
			A (2)	市民全体におよぶ		・地域文化振興事業として実施しているが、開催パ				
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	В	ンフレットは〇〇地域や〇〇地域にも配布しており、また各種情報媒体を活用し、市域全体に周知している。				
			C (0)	わずかな受益者に限定される						
			A (2)	十分に達成している (100%以上)						
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	Α	・来場者数は、事業計画どおり推移しており、成果 指標の目標を十分に達成している。				
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)						
成		成果向上・目的達成のた	<b>A</b> (2)	有効である		・地域に存在するさまざまな芸術文化活動団体へ				
果面	⑤	めの手法・活動内容の有効性	B (1)	概ね有効である	В	の呼びかけを行い、毎年目新しい発信を行うと共 に、市内外を問わず多方面にも出場等を依頼し、				
Щ		X)II	<b>C</b> (0)	見直しが必要である		有効的な地域間交流を行っている。				
		事業実施における課題	<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている		・来場者及び出場団体などへの聞き取りを実施 し、常に効果的な情報発信を心掛けている。				
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В					
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない						
		1 %	A (2)	課題はない・解消されている						
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・毎年、実施後に関係者による意見交換を行い、 常に効果的・効率的な開催を目指している。				
ス			<b>C</b> (0)	対応していない						
ト 面			A (2)	適正である		・地域での芸術文化の保存と継承、新たな芸術文				
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	В	化の創出を図る上で、受益者1人当たりのコストは 適正であると考えている。				
4			<b>C</b> (0)	改善が必要である						
成果		成果に対するコスト(人	A (4)	適正である						
対ココ	9	件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	В	・投入コストに見合った成果が上がっていると考え ている。				
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である						
		合計		11.0 / 20.0	10	0点換算				

4 今後の方向性(Action1)

	0	維持·改善		拡大		縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•内容	₹の見直しを図りク	ながら	、より一層充実し	た開作	崔を実施する。		

		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	完了
(二次計画/	につ	いて、検討する必	要がる	ある。			或のあり方の再材 けする必要がある	 事業費規模など

5	予算編成(Action2)	※予算要來	<b>時記人</b>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出 (千円)	800	800	0	600	600
	国庫支出金					
財						
源 内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	800	800	0	600	600

	予算要求 の概要	伝統文化祭の開催に対する助成						
	要求額 増減理由							
	①支所							
	地域の文化伝承							
事業実	②本庁所管課(生	<b>進学習課</b> )						
来実施の課題	地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に 対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、 内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係 についても整理する必要がある。							
	地域政策課							
	同上							

	地域振興計画どおりとする
財務部査定 の考え方	
	財務部調整どおり
市長査定 の考え方	

_										
-	業名	946	699	地域文化振興事業費	担当課			朝日支所 地域振興課	内線	
-	未口	枝番		地域人心派央争未真	担当床					
	会	計	1	一般会計	<sub>仏</sub> 特	0	Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事	
7		ķ	9	教育費	置別		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業	
算	Į	Ę	4	社会教育費	付算の		С	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	E		6	文化振興費			D	その他事業		
Ħ	市長の約束		9	伝統文化を守り、次世代へ継承します 芸術文化の振興を積極的に支えます 生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きにも繋がる芸術文化活動をさらに浸透新たな芸術文化の創出のための予算	₫させ、広	げて	いく	(ために、芸術文化の保存と継	承、	

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	市民(朝日町)	受益者数	1,890 人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	・優れた芸術文化に接する機会を創出し、市民に心豊かる地域づくりを創造すると共に、地域の文化団体におけりを目指す。		
概要	事業の 実施手法 (手段)	・「文化講演会」を毎年、秋季に開催する。 ・H23年度 11月14日(月)に開催予定 事業実施主体 朝日地区社会教育推進協議会		
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント			

# 2 事業の推移・結果(Do) 指標名 単位 目標・実績 H21 H23見込 H24計画

				拍标石	- 単	1.7	日信"夫祖	П21	ПZZ		□Z3兄又	1 日24計 回
		1	参加者(	夹堤者)	J		目標値	300	3	00	30	0 300
	洪	•	<b>УЛГ</b> В (,	<b>不</b> 物百)			実績値	380	4	40	30	0 -
	活動	算品	出根拠等	来場者集計より			達成率(%)	127	147		10	0 -
	指標			指標名	単位	位	目標·実績	H21	H22		H23見辽	H24計画
		2					目標値					
		)					実績値					-
成 果		算品	算出根拠等				達成率(%)					-
布				指標名	単位	位	目標·実績	H21	H22		H23見辽	<u>► H24計画</u>
		<b>①</b>	来場者		<b> </b>		目標値	300	3	00	30	0 300
	成	•	71.20 [	- W L		`	実績値	380	440		30	0 -
	<b>从果指</b>	算品	出根拠等	来場者集計より			達成率(%)	127	1	47	10	0 -
	指標	指標名				位	目標·実績	H21	H22		H23見辽	<u> </u>
		2					目標値					
		)					実績値					-
		算品	<mark>拿出根拠等</mark>				達成率(%)					-
			(人件費を	事業費 と除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額 -		H2 予算		H24 実施計画額
				歳出 (千円)	(A)	2,148		2,0	00	2,000		1,500
	財	受益	益者負担(	(使用料・負担金等)								
_	源 内	その	の他特定則	材源(国・県支出金・起債等	)							
ス ト	訳	— 角	设財源				1,948	2,0	00		2,000	1,500
面				指標名			H21	H22	Н	123 <u>5</u>	見込	H24計画
	コス	1)	受益者1	件当たり(円)(ハ	4/B)		1,137	1,0	058		1,058	794
	ヘト指		受益者	市民(4月1日現在)	(B)		1,890	1,8	890		1,890	1,890
	標	② 来場者1人当たり(円)					5,653	4,	545		6,667	4,500
		算	出根拠等	事業費/来場者数								

3	分	析・評価(Check)							
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など			
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		・地域文化振興事業は、いずれも総合計画、市長			
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	В	公約に位置付けられ、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出を図る上でも重要である。			
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない		には云州又北の周山を図る上でも里安でめる。			
必		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		・例年、「文化講演会」は盛況に開催されており、			
要性	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	В	優れたの芸術文化に触れる貴重な場と考えている。			
性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している		<b>ు</b>			
			A (2)	市民全体におよぶ					
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	С	朝日地区社教が主催するため、受益者が限定れる。			
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される					
			A (2)	十分に達成している (100%以上)					
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	Α	・来場者数は、事業計画を上回る状況で推移して おり、成果指標の目標を十分に達成している。			
			C (0)	あまり順調でない (75%未満)					
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である		・優れた芸術文化に触れる機会を創出するため、			
果面	⑤	めの手法・活動内容の有効性	<b>B</b> (1)	概ね有効である	В	関係機関との連携深め有効な活動となるよう努めている。			
山		XJIII	<b>C</b> (0)	見直しが必要である		C - 3 - 6			
		事業実施における課題	<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている		・来場者などへの聞き取りを実施し、常に効果的な 情報発信を心掛けている。			
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В				
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない					
			A (2)	課題はない・解消されている					
L	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・毎年、実施後に関係者による意見交換を行い、 常に効果的・効率的な開催を目指している。			
コス			<b>C</b> (0)	対応していない					
ト 面			A (2)	適正である		・地域での芸術文化の保存と継承、新たな芸術文			
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	В	化の創出を図る上で、受益者1人当たりのコストは 適正であると考えている。			
			<b>C</b> (0)	改善が必要である		無正 こののころん CV "の。			
成果			A (4)	適正である					
対 コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	В	・投入コストに見合った成果が上がっていると考えている。			
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である					
		合計		10.0 / 20.0	10	0点換算			

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善		拡大		縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	・内容	₹の見直しを図りオ	ながら	、より一層充実し	た開作	崔を実施する。		

		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	につ	5的なバランスの; いて、検討する必 リ期間終了を見据	要がる	ある。				事業費規模など

議会からの 提言等

<u>၁</u>	了昇編队(Action2)	<u> </u>	付記八			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	2,000	1,500	△ 500	1,500	1,500
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	2,000	1,500	△ 500	1,500	1,500

	予算要求 の概要	文化講演会の開催に対する助成						
	要求額 增減理由	事業内容の見直し						
	①支所							
	各地域で同様の事業が実施されているため、地域間の調整が必要である。							
事業	②本庁所管課 (生	<b>進学習課</b> )						
実施の	地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に 対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、 内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要があ							
課題	る。 また、文化芸術鑑賞 についても整理する	事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係 必要がある。						
	地域政策課							
	同上							

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
	財務部調整どおり
市長査定 の考え方	

事	事業名 枝 番		市指定文化財保存事業	担当課			朝日支所 地域振興課	内線 3621		
	会計 1 予 款 9		一般会計	特別予		Α	合併前から実施されているイベント・			
			教育費		0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業		
算	項	4	社会教育費	付算		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業		
	目		文化財費	"		D	その他事業			
市長の約束 9・高山固有の美しさを守り			伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、 などの資源を保存活用する。	社会的に	価値	直が	ある有形無形の伝統文化や文	化財		

### 1 事業の目的・概要(Plan)

		(A. 1917)		
	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	天然記念物、有形文化財、有形民俗文化財は貴重な財務を持っている。看板を設置し意識啓蒙を図りその重要		伝える大切な責
概要	事業の 実施手法 (手段)	• 指定文化財石柱設置 • 説明看板設置 • 乗鞍登山道石仏祠設置		
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント			

単位 目標·実績 H21 H22 H23見込 H24計画

		•	<b>工</b> ++-凯罕	2 *h	,	固	目標値	6		5	5	5
	J	0	石柱設置	1 致	1	回	実績値	6		5		
	活動	算品	出根拠等		•		達成率(%)	100	10	00 #VAL	UE!	-
	指標			指標名	単	位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
	1224	2					目標値					
		٧					実績値					_
成果面		算品	出根拠等				達成率(%)					-
面			指標名		単	位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
		1	石柱設置	₹ <b>₩</b>			目標値	100	10	00	5	5
	成果						実績値	100	10	00		-
			出根拠等				達成率(%)	100	10	00		-
	指標	指標名		単	位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画	
	178	2				目標値						
		)					実績値					-
		算品	出根拠等				達成率(%)					-
			(人件費を	事業費 と除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込		H23 算額	実	H24 施計画額
				歳出 (千円)	(A)		845	850		1,000		1,000
	財	受护	益者負担(	(使用料・負担金等)				0		0		
_	源内	その	り他特定則	材源(国・県支出金・起債等	<b></b> })		0		0	0		
ス ト	訳	— 角	<b>投財源</b>				845	8	50	1,000		
面				指標名			H21	H22	H	23見込	ŀ	H24計画
	コス	1)	受益者1	件当たり(円)(	A/B)		9		9	11		11
	ト 指			(B)		94,235	93,	822	93,312		93,300	
	標	2										
		算	出根拠等									

3	Л1	析・評価(Check) 評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
		計画視日	Λ (2)	計画を学 結びつく	市十川山			
	<b>①</b>	事業の実施が市の総合 計画・市長公約等の目標		一部結びつく	$\perp$	指定文化財石柱設置、説明看板設置について は、市長公約に位置づけられ、歴史的、社会的		
	U	達成に結びつくか		結びつかない	-	価値のある有形無形の伝統文化や文化財など源を保存活用するために欠かせない。	資	
				非常に多い、急増している			_	
必 要	<u> </u>	事業の実施に対する市 民のニーズの傾向はどう		非常に多い、忌塩している ある程度の二一ズがある	H A	看板等設置することで、市民に対して意識啓蒙	を	
性	(2)	か	-	少ない、減少している	-	図り重要性を高める。		
				市民全体におよぶ	1		_	
	<u></u>	事業効果が市民全体に			┦ ,	伝統文化や文化財は貴重な財産であり、看板等		
	③ 及ぶか			概ね市民全体におよぶ	A	設置することにより意識啓蒙を図り重要性を高る効果がある。	נע	
				わずかな受益者に限定される	_		_	
		事業の活動・成果指標の	-	十分に達成している (100%以上	4	   石柱設置については、当初計画どおり設置し		
	4	達成状況はどうか		概ね達成している (75%以上		り、目標値をおおむね達成している。	0.	
				あまり順調でない (75%未満	()		_	
成		成果向上・目的達成のた		有効である	-	    看板等は限られたスペースの中で、市民に分か	n l	
果面	(5)	めの手法·活動内容の有 効性			A	やすく情報を提供する必要がある。		
			<b>C</b> (0)	見直しが必要である				
		事業実施における課題 の解消、前年度の評価		課題はない・解消されている	_			
	6	結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	A	今後とも分かりやすく情報を提供する必要がある		
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない				
		コフト統法に向けれる	A (2)	課題はない・解消されている		石柱設置については当初は各部署単位で入札		
П	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	ていたが、市で一括入札を行い経費節減に努め いるが、石材等の高騰により単価が増加傾向に		
ス			<b>C</b> (0)	対応していない		<b>ā</b> .	_	
ト 面			<b>A</b> (2)	適正である				
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	Α	投入コストに見合った成果が上がっている。		
			<b>C</b> (0)	改善が必要である			_	
成果		- N. T. L. T L. C.	A (4)	適正である				
対コス	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	投入コストに見合った成果が上がっている。		
スト			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
		合計		20.0 / 20.0	10	0点換算 100 /100		
				20.0		/ 100		

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	今後	も歴史的、社会的	江価	値がある有形無影	形の伝	統文化や文化財	けなど(	の資源を保存活用	月する	•

	0	維持·改善		拡大		縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	平成2	26年度までに完了	了でき	るよう事業を継続	きする。	必要がある。		

議会からの 提言等

<u> </u>	」,另一個八人 (ACCIONZ)	不了异女不	いロンへ			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	1,000	1,770	770	1,750	1,750
	国庫支出金					
財						
源内	起債					
訳						
	地域振興特別予算	1,000	1,770	770	1,750	1,750

	予算要求 の概要	文化財標柱設置にかかる経費 乗鞍登山道石仏の保護にかかる経費							
	要求額 增減理由	乗鞍登山道石仏祠設置工事費の増							
	①支所								
	文化財標柱設置等は文化財保存において重要であり、計画的に設置する必要がある。								
事業実	②本庁所管課(文	化財課)							
施	施 カ 文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓発の観点から必要であり、設置計画に基づ 計画的に設置を進める必要がある。								
	地域政策課								
	計画的に実施し、地	域振興特別予算措置期間に設置完了することが必要である。							

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
	財務部調整どおり
市長査定 の考え方	

車	95199 スポーツフェスタ助成事業		担当課			朝日支所 地域振興課	内線		
7	サネロ   校 番				担当床			初口文川 地域派英誌	3610
	会	#	1	一般会計	<b>特</b>	0	Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	款	7	9	教育費	位置付 付置付		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業
算	項	'n.	5	保健体育費	1+ <del>77</del>		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	E		1	体育総務費	່"		D	その他事業	
市:	長の糸	内束							

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	地域内市民対象	受益者数	1,890 人			
	目 どういう状態 ・余暇の時間増大により物質的充足感より心の豊かさなど精神的な充足感が強く家 るようになり、日常生活に定着した活動により参加しやすい軽スポーツの大会を開とにより地域の活性化につなげたい						
相要	期 日 10月上旬 会場 こだま館、マレットゴルフ場 対象者 朝日支所地域内の小学生から高齢者まで 内 容 グランドゴルフ、ダーツ、ペタンク、輪投げ、キックボーリング、ストラックアウウォークラリー等						
Ē	が回の評価からの 改善・改革 のポイント	・参加人数の増加、多様化のため種目の見直しを行う					

## 2 事業の推移・結果(Do)

			指標名			位	目標·実績	H21	÷	H22	H23見i	<u> </u>	H24計画
		<b>1</b>	スポーツ	フェスタの開催		回	目標値	1		1		1	1
	汪	•	X/I. J	フェハブの所能			実績値	1		1		1	
	活動	算品	出根拠等	年一回			達成率(%)	100	100		1	00	-
	指標			指標名	単	位	目標·実績	H21	ŀ	H22	H23見i	չ	H24計画
		2					目標値						
		u)					実績値						-
成果面		算品	出根拠等				達成率(%)						-
面				指標名	単	位	目標·実績	H21	ŀ	H22	H23見i	չ	H24計画
		1	スポーツ	フェスタの開催		人	目標値	150		150	1	50	150
	<del>-  </del>	•		フェハブの所能	,	^	実績値	116		100	1	50	_
	成果指	算品	出根拠等	参加者数			達成率(%)	77		67	1	00	_
	指標			指標名	単	位	目標·実績	H21	ŀ	H22	H23見i	<u>ک</u>	H24計画
		2					目標値						
		)					実績値						-
		算品	出根拠等				達成率(%)						-
			(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む	)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H2 予算		実	H24 施計画額
				歳出 (千円)	(A)		150	1	50		150		150
	財	受益	益者負担(	(使用料・負担金等)									
П	源内	その	り他特定則	財源(国・県支出金・起債	責等)								
ス ト	訳	<b>一</b> 角	<b>投財源</b>				150	1	50		150		150
面				指標名			H21	H22		H23	見込	ŀ	124計画
	コス	1)	受益者1	件当たり(円)	(A/B)	)	1,293	1,	500		1,000		1,000
	۲	•	受益者	150	(B)		116		100		150		150
	指標	2											
		算	出根拠等	決算額/参加者数									

		評価項目		評価基準	評価	評価内	容の説明など	
		事業の実施が市の総合	A (2) 結	びつく		・叔フポーツたほじて	子供から高齢者までがふれ	
	1	計画・市長公約等の目標	B (1) -	部結びつく	В	************************************		
		達成に結びつくか	C (0) 結	びつかない				
心		事業の実施に対する市	A (2) 非	常に多い、急増している		・市民の生活形能 #	取向性が多様化している中	
要性	$\sim$	民のニーズの傾向はどうか	B (1) b	る程度のニーズがある	С		加が少なくなりつつある	
1±		χ,	C (0) 少	少ない、減少している		無くても文庫のない	7× C00	
		**************************************	A (2) 市	民全体におよぶ				
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1) 概	ね市民全体におよぶ	С	朝日町地域内の市民	を対象としている事業である	
			C (0) わ	ずかな受益者に限定される				
		古巻の江弘 ピ田七栖の	A (2) +	分に達成している (100%以)	E)	- - 高齢者以外の成人i	市民や子供の休日の過ごし	
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1) 概	ね達成している (75%以)	E) C	方にマッチしていない 者に偏り成果指標の	行事であり、参加者が高齢 達成は順調ではない	
			C (0) あ	まり順調でない (75%未)	<b>芍</b> )			
成		成果向上・目的達成のた	- 1.0	効である	_			
果面	<b>⑤</b>	めの手法・活動内容の有効性	B (1) 概	ね有効である	С	・事業の必要性を見正	直す必要がある	
_				直しが必要である				
		事業実施における課題 の解消、前年度の評価	A (2) 課	題はない・解消されている	_	. 地域内の古学 小学	<sup>⋭</sup> 校、スポーツ少年団への参	
	6	結果や指摘事項等への		善・工夫に取り組んでいる	В	加の呼びかけを行っている		
		対応		応していない	+			
	0	コスト縮減に向けた改		題はない・解消されている	4.	・不足する用具を他地	也域との連携により融通しあ	
_	7	善・工夫		善・工夫に取り組んでいる	A	い、コスト削減に努め		
スト				応していない	+			
面	(O)	受益者1件当たりのコスト		正である 	В		めの競技種目の多様化に対 調達が必要であるため、概ね	
	0	文無有「什当たりのコスト		善が必要である	-   "	適正である	調達が必安でめるため、例4。	
成			A (4) 適		1			
果 対	( <del>9</del> )	成果に対するコスト(人		ね適正である	В		比較的あるため現状では概	
コス	•	件費も考慮)は適正か		善が必要である	+	ね適正である		
1						 0点換算		

4 今後の方向性(Action 1)

次年度の

議会からの 提言等 〇 維持・改善

実施方針(担当課評価)	. —	ポーツを通じて地 討する	域市	民の精神的、肉体	*的リ	フレッシュの効果	を期待	<b>寺し、市民の期待で</b>	する事	業として計画を
		維持·改善		拡大	0	縮小		廃止の検討		完了
総合評価(二次評価)						は引き下げを行う』 歳し、縮小(廃止)?		がある。 対する必要がある。	0	

縮小

廃止の検討

完了

拡大

5	プ昇編成(Action2)	※	<b>守記人</b>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出 (千円)	150	150	0	150	150
	国庫支出金					
財	県支出金					
源 内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	150	150	0	150	150

	予算要求 の概要	地域スポーツ大会の開催に対する助成
	要求額 増減理由	
	①支所	
		社教であるため市民全体を参加者とすることが困難である 齢者が大半で、ファミリー、一般参加が極めて少ない
事業	②本庁所管課 (スプ	ポーツ振興課)
事業実施の課題	の推進等に対する助現在、一般予算の中	事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動 力成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 っで地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等 るところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予 まする必要がある。
	地域政策課	
	同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事	事業名		99	地域おこし協力員活動事業	担当課			朝日支所 地域振興課	内線 3611	
	会計			一般会計	, <sub>, , </sub> 特		Α	合併前から実施されているイベン		
予	款	ζ	2	総務費	世別 B 一般予算の上乗せとして実施されてし					
算	項	į	1	総務管理費	付算	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業	
	E		9	企画費	"			その他事業		
市	市長の約束			観光まちづくり持続可能なものとするためめ、地域住民などの関係者と幅広く連携					はじ	

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	朝日支所地域全住民	受益者数	1,890 人						
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	山村地域の活性化に意欲のある都市住民(若者)を「地域おこし協力員」として委嘱し、域で活動する団体等と協同して地域おこし活動に従事するとともに、外部からの視点をかした地域資源の活用や地域振興策を提案・実施することで地域の活性化を図り、地域の維持・強化に資する。								
相要		都市部の視点を活かすことを基本として、主に次の地域して取り組む。 ・地域資源の調査、整理・・地元農産物の新しい活用派・・地元住民の知恵、技を活かした商品開発・グリーン・	よの提案と販売促	進活動						
育	回の評価からの 改善・改革 のポイント									

2	事	業 <i>σ</i> .	)推移·結	果(Do)									
				指標名	単	位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
		<b>1</b>	地域おこ	し協力員の人数		人	目標値			1		1	1
	活	•	25-260C		,		実績値			1		1	
	動	算	出根拠等				達成率(%)			100	1	00	-
	指標			指標名	単	位	目標·実績	H21	١	H22	H23見	込	H24計画
		(2)		「報誌「あさひの絆」		回	目標値			5		12	12
		Ů	月1回到				実績値		3			12	
成果面		算	出根拠等	1回発行/月×12月		達成率(%)			60	1	00	-	
面				指標名	単	位	目標·実績	H21	ı	H22	H23見	込	H24計画
		(1)	グリーン・	ツーリズム開催回数			目標値			20		25	
	成						実績値			22		25	-
	(果指標	算	出根拠等	開催回数			達成率(%)			110	1	00	-
				指標名	耳	位	目標·実績	H21	١	H22	H23見	込	H24計画
		2					目標値						
							実績値						-
_		算	出根拠等				達成率(%)						-
			(人件費を	事業費 と除き繰越・補正を含む	;)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H23 予算額		実	H24 施計画額
				歳出 (千円)	(A)		0	1,5	33		3,080		3,500
	14.1	受	益者負担(	使用料・負担金等)					0		0		0
コス	源内	その	の他特定則	オ源(国・県支出金・起	<b>責等</b> )		0		0		0		0
スト	訳	— <u>f</u>	投財源				0	1,5	33		3,080		3,500
面				指標名			H21	H22		H23 <sub>.</sub>	見込	H	124計画
	コス	1		件当たり(円)	(A/B)	)			805		1,630		1,768
	ト指		受益者	朝日地域人口	(B)			1,	904		1,890		1,980
	標	2											
		算	出根拠等	•									

3	分	析•評価(Check)						
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		┃ ┃ ┃・地元NPO法人と協働し、外部からの視点を活か		
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	Α	し新たな観光資源を発掘・活用する活動を行っている。		
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない		U-00		
心		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		・観光客の減少に伴い旅館・民宿での宿泊客が減		
要性	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	Α	少している傾向から、誘客に津ながら事業としてはままでに高い。		
1生		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している		対反は外市に同じ。		
			A (2)	市民全体におよぶ		・情報誌の発行が朝日支所地域内に限られている		
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	В	「情報記の光打が朝日文が地域内に限られているが、情報発信を行うことで概ね市民全体におよぶ ことになる。		
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される		LC1-'4'00		
			A (2)	十分に達成している (100%以上)		・年間を通じて活動しており、地域住民との交流を		
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	Α	深めると同時に、情報誌の定期的発行により活動 報告がなされている。		
			C (0)	あまり順調でない (75%未満)		TRICATA COTO CO であ。		
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である		・・地元NPO法人と協働して活動すると同時に、地域		
果面	⑤	めの手法・活動内容の有効性	B (1)	概ね有効である	Α	住民と積極的に交流を行い、情報収集や活動を行っており有効である。		
山		XJ1±	<b>C</b> (0)	見直しが必要である		11 フ とのう 日 対 との る。		
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている		・任意の実行委員会からNPO法人の設立により、		
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	活動母体の明確化など改善・工夫に取り組んでいる。		
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない				
			<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている				
_	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・限られた予算で、改善・工夫して活動に取り組んであおり、コストは概ね適正である。		
ス			<b>C</b> (0)	対応していない				
ト 面			<b>A</b> (2)	適正である				
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	В	・限られた予算で、工夫して活動に取り組んであお り、コストは概ね適正である。		
			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
成果		*B1=+1-+-7	A (4)	適正である				
対コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	ストは適正である。		
スト			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
		合計		17.0 / 20.0	10	0点換算 85 /100		

### 4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善	拡大	縮小	廃止の検討		完了
(担当試計)			 っさひ」を設立し、? 、引き続き活動員	 	 母体が確立された がある。	<u>-</u> が、±	也域の活動を図

	)	椎村・以普		114.人		和小	発正の検討	无」
総合評価 二次評価)	設置:	年度終了後の地	域のも	あり方の検討が必	要。			

# 議会からの 提言等

_	<u>ວ</u>	了昇編队(ACTIONZ)	<u> </u>	可配八			
		事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
		歳出(千円)	3,080	2,929	△ 151	2,880	2,880
I		国庫支出金					
		県支出金					
	源内	起債					
		その他					
L		地域振興特別予算	3,080	2,929	△ 151	2,880	2,880

	予算要求 の概要	地域おこし協力員の活動にかかる経費							
	要求額 増減理由	活動経費の見直しによる							
	①支所								
	24年度をもって地域域力の強化を進める	或おこし協力員事業が終了となるため、これに代わる事業により引き続き地 ら必要がある。							
事業	②本庁所管課(地域政策課)								
事業実施の課題	事業最終年度のため、これまでの成果の取りまとめ及び検証と、成果の次年度以降の取り組 みにつなげることが必要である。								
	地域政策課								

財務部査定 の考え方	他支所地域おこし協力員と統一
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

<b>=</b>	業名	209	999	朝日地域再発見事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線			
7	未石	枝番		初口地模件尤元孝未	担当床			初口又加 圣监庄未味	3632			
	会	Ħ	1	一般会計	<sub>仏</sub> 特	特		合併前から実施されているイベン	ト・行事			
予	款	<del>ر</del>	2	総務費	位置付置付		В	B 一般予算の上乗せとして実施されている				
算	項 1			総務管理費	1+ 昇		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業			
	E	1	9	企画費	′′	0	D	その他事業				
市長の約束			1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有 資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとする 関係者をはじめ、地域住民などの関係 図ります。	るため、飛	騨均	也域	の民間組織と行政、観光				

### 1 事業の目的・概要(Plan)

_		ナイジロロー	32 (1 14.17)						
I		誰を(対象)	地域内外の人	受益者数					
	目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	地域力向上のため、地域の魅力の再発見及び、地域資源の発掘を行う。						
7	既要	美施手法 (毛段)	・新たな特産品開発(四国びえの商品・猪肉加工・食感り協働を得ながらフードコディーネーターを招き、研修・研・既存施設や当地区ならではの氷を基調した魅力ある体介した資料を作成。	究を通して商品の	創作を図る。)				
	前回の評価からの 改善・改革 のポイント		・特産品の開発・宣伝、パンフレットの成作						

### 2 事業の推移・結果(Do) 指標名

_	7	<b>木 V</b> ,	/推修"和	未(D0)	_	_						
				指標名	単位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
		1				目標値						
	Ţ	0				実績値						
	活動	算品	出根拠等		•	達成率(%)						-
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
	IN	2				目標値						
		J)				実績値						-
成 果		算品	出根拠等			達成率(%)					-	
木面				指標名	単位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
		<b>1</b>	メニュー(	ひ数	個	目標値			10		10	
	ť	9	<b>メニューの</b> 数			実績値			14		10	_
	成果	算品	<mark>出根拠等</mark>			達成率(%)					100	-
	指標		指標名		単位	世 目標·実績	H21		H23見:		込	H24計画
		(2)	   商品化数			目標値			1		5	
		ì				実績値			4		5	-
		算品	出根拠等			達成率(%)			400	1	100	-
			(人件費る	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H2 予算		実	H24 施計画額
				歳出(千円)	(A)		9	82		1,000		1,000
	財	受益	益者負担	(使用料・負担金等)								
П	源内	その	の他特定則	財源(国·県支出金·起債等	)							
コスト	訳	— 角	段財源				9	82		1,000		1,000
面				指標名		H21	H22		H23	見込	H	124計画
	コス	1)	受益者1	件当たり(円)(A	(/B)		#DIV	//0!	#	DIV/0!		#DIV/0!
	ト指	)	受益者		(B)							
	標	2										
		算	出根拠等									

		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など
		東番の史佐が主の公会	A (2)	結びつく		# <del>+ </del>
	1	事業の実施が市の総合 計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	А	・特産品を開発と独自のパンフレットを作成する。 により、多くの人々に地域の魅力を知ってもらう
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない		略的な誘客宣伝が出来る。
.ev		事業の <b>中</b> 佐にもよって	A (2)	非常に多い、急増している		
必要	2	事業の実施に対する市 民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	В	・猪肉の供給と販売には、住民の期待が高い。
性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している	1	
			<b>A</b> (2)	市民全体におよぶ		
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	А	・原料の安定的な確保が可能になる事により、安価に供給できる。
		25.2	<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される	1	
			<b>A</b> (2)	十分に達成している (100%以上)		
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	<b>B</b> (1)	概ね達成している (75%以上)	А	・成果指数の目標値を概ね達成している。
		ZEM NOTICE 77	<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)	1	
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である		
果	⑤	めの手法・活動内容の有	B (1)	概ね有効である	Α	・それぞれの材料の特性を生かしながら、特産品 を開発する事は、地域おこしの上有効である。
面		効性 	<b>C</b> (0)	見直しが必要である		
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている		・猪肉加工品を製造する業者が地元にない為、5
	6	の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	元の肉が使えない。使えるよう検討する必要があ
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない		<b>.</b>
			A (2)	課題はない・解消されている		
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・猪肉が割高になる傾向にある
コス			<b>C</b> (0)	対応していない		
ト 面			<b>A</b> (2)	適正である	評価	
_	8	受益者1件当たりのコスト	<b>B</b> (1)	概ね適正である	対	・まだ創出中の為
			<b>C</b> (0)	改善が必要である	象 外	
成果		<u> </u>	A (4)	適正である	評価	
対 コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	対	・まだ創出中の為
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である	<b>象</b> 外	
		合計		11.0 / 140	10	79 /100

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善	拡大		縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)		ニューの創出と! 成の素材編集、構	<b>丁い資料を作成す</b>	·3。			

	0	維持•改善		拡大		縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	•成果	その有効活用につ	いて	検討する必要がも	<b>5</b> 8.			

議会からの 提言等

5	プ昇編成(Action2)	※	<b>守記人</b>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出 (千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	1,000	1,000	0	1,000	1,000

	予算要求 の概要	特産品開発及びPRにかかる経費								
	要求額 増減理由									
	①支所									
_	かわらべ・うるち米餅の商品化に伴い、健康食品としての効能やおいしく食べていただく為の説 明書の工夫が必要。									
事業	②本庁所管課(地域政策課)									
実施の課題	事業最終年度のため成果を検証したうえで、次年度以降も成果が生かされるためのしくみづくりが必要である。									
	地域政策課									

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

폌	業名	209	999	秋神夢づくり事業	担当課			朝日支所 地域振興課	内線
7	未石	枝番		が呼をつくりず木	15.30本			机口义剂 地域派共称	3621
	会	計	1	一般会計	<u> </u>		Α	合併前から実施されているイベン	・・行事
予	款	ķ	2	総務費	位置行		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業
算	算 項 目		1	総務管理費	1+ 昇	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
			9	企画費	'′		D	その他事業	
市	長の絹	的束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有 資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとする 関係者をはじめ、地域住民などの関係 図ります。	るため、飛	騨均	也域	の民間組織と行政、観光	

### 1 事業の目的・概要(Plan)

_	<b>ナルッロロ</b> 17	(S) (1 1411)		
	誰を(対象)	地域内外の人	受益者数	不特定多数
白		グリーン・ツーリズムの推進し、都市住民との心の交流をつとして、わらび粉づくりを復活をする事により、体験講能りをする。また地域の特産品加工、伝統文化の伝承を通場を作ることにより地域の活性化を図る。	师(高齢者・女性	等)の生きがいづく
相要		平成22~23年度 未利用の既存の水車小屋を体験施設として活用するため する。 平成24年度 旧秋神小学校をグリーン・ツーリズム事業で利用しやすり		
Ē	が回の評価からの 改善・改革 のポイント	平成23年度 ·水車小屋の移築 平成24年度 ·旧秋神小学校の修繕等		

2	事	業の推移・結	果(Do)									
			指標名	単	位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
		①				目標値						
	Ħ					実績値						
	活動	算出根拠等				達成率(%)						-
	指標		指標名	単	位	目標·実績	H21	-	H22	H23見	込	H24計画
		2				目標値						
						実績値						-
成 果		算出根拠等				達成率(%)						-
面			指標名	単	位	目標·実績	H21	١	H22	H23見	込	H24計画
		<ul><li>① 体験イベ</li></ul>	ント		Ĺ	目標値	100		150	2	200	300
	成					実績値	60		120	1	180	-
	果指	算出根拠等		-		達成率(%)	60		80		90	-
	指標		指標名	単	位	目標·実績	H21	ا	H22	H23見	込	H24計画
		2				目標値						
						実績値						-
		算出根拠等				達成率(%)						-
		(人件費を	事業費 と除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込	額	H2 予算		実	H24 施計画額
			歳出 (千円)	(A)			3,3	00		6,000		500
	財	受益者負担(	(使用料・負担金等)									
П	源内	その他特定則	<b>財源(国・県支出金・起債</b>	等)								
スト	訳	一般財源					3,3	00		6,000		500
面			指標名			H21	H22		H23 <sub>.</sub>	見込	ŀ	124計画
	コス	受益者1(	件当たり(円)	(A/B)			27,	500		33,333		2,083
	ト 指	受益者	体験イベント	(B)		60		120		180		240
	標	2										
		算出根拠等	<u> </u>									

3	分	析•評価(Check)								
		評価項目		評価基準		評価	評価内	容の説明など		
		事業の実施が市の総合	A (2) 結	びつく			・「にぎわい」のあるw	Jをめざして、地域の特色を生		
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	-部結びつく		Α		わらび粉を新たな観光資源		
		達成に結びつくか	C (0) 結	びつかない			C9 %			
必		事業の実施に対する市	A (2) 非	常に多い、急増してい	3					
要性	2	民のニーズの傾向はどうか	B (1)	る程度のニーズがある	ı	В	・地場産業の少ない。 は大きい。	中、昔ながらの産業への期待		
11±		<i>[</i> 0,	C (0) 少	かない、減少している						
			A (2)	i民全体におよぶ						
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1) 概	それ市民全体におよぶ		В	・新たな観光資源とし	、TPRできる。		
			C (0) 7	ずかな受益者に限定さ	れる					
			A (2) +	-分に達成している	(100%以上)					
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1) 概	そね達成している	(75%以上)	С	・集客数が増えている。			
			C (0) b	まり順調でない	(75%未満)					
成		成果向上・目的達成のた	A (2) 有	i効である						
果面	⑤	めの手法・活動内容の有効性	B (1) 概	そね有効である		В	・廃校小学校とのコラ の可能性が多い	がにより、都市住民との交流		
ഥ		XIII	C (0) 見	し直しが必要である						
		事業実施における課題	A (2) 課	<b>!題はない・解消されて</b> !	いる			の主導的活動組織として		
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	B (1) 改	z善・工夫に取り組んで	いる	В		<b>啓蒙活動により、協力者を</b>		
		対応	C (0) 対	†応していない			増やす必要がある。			
			A (2) 課	<b>限題はない・解消されて</b>	いる					
_	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1) 改	₹・工夫に取り組んで	いる	В	<ul><li>体験に必要な部屋を ・受電契約の変更が</li></ul>	を限定し使用している 必要になる。		
ス			C (0) 対	†応していない						
ト 面			A (2) 遊	証である		評価				
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1) 概	れ適正である		対象	<ul><li>受益者が不特定多</li></ul>	数な為		
			C (0) 改	z善が必要である 		外				
成果:	**************************************		A (4) 遃	証である						
対 コ	9 成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か		B (2) 概	れ適正である		Α	・投入コストに見あっ	た成果が上がっている。		
ス ト	С			改善が必要である						
		合計		11.0 / 18.0			0点換算	61 /100		

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•地垣	成の体験型交流旅	設と	して推進する。			

	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	・今後	もの方向性を明確	ミニす・	る必要がある。			

議会からの 提言等

<u>:</u>	了异种以(ACUONZ)	<b>水 / 异女木</b>	うにノく			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	6,000	500	△ 5,500	0	0
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	6,000	500	△ 5,500	0	0

	予算要求 の概要	旧秋神小学校の活用に向けた施設修繕費						
	要求額 増減理由	施設整備の完了に伴う減						
	①支所							
_	交流人口の増加を図る事業を実施するには、事業内容に適した施設面の整備が必要である。							
事業	②本庁所管課(地域政策課)							
実施の課題	秋神地域の活性化を進める中で、旧秋神小学校の位置づけ・役割・目標を明確にしたうえで、 地域団体等とも協働した事業展開を図ることが必要である。							
	地域政策課							

財務部査定 の考え方	今後の施設のあり方、利活用方針が未定であるため見送り
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事業名 核 番		399	生活環境保全対策事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線 3631
予算	会計 1 一般会計		, 特		Α	合併前から実施されているイベン	ト·行事	
	款	5	農業水産業費	世別置る		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
	項	1	農業費	付算の	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	目	3	3 農業振興費			D	その他事業	
市	長の約束	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるた。 の加工販売など活用方策について具体	め、駆除と	:防1			

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	朝日地域の当該事業に参加している11町内会	受益者数	377 人						
	きたいう状態 にしたいのか (意図)	害鳥獣による被害を防止するため、集落の周囲に進入防止柵を設置し、安心して暮らせ 地域づくりを目指す。								
	既 実施手法 (手段)	有害鳥獣進入防止柵等を設置するための資材費購入に	対する助成							
Ī	前回の評価からの 改善・改革 のポイント	町内会等の事業実施主体に対して、本年度当初に補助 を促した	予定額を通知し、	事業の早期完了						

	指	標名	単位	目標•実績	H21	H2	22	H23見	込	H24計画
	①			目標値						
т.	9			実績値						
活動	算出根拠等			達成率(%)						-
指標	指	標名	単位	目標·実績	H21	H2	22	H23見	込	H24計區
	2			目標値						
				実績値						-
	<mark>算出根拠等</mark>		達成率(%)						-	
	指	標名	単位	目標·実績	H21	H2	22	H23見	込	H24計ī
	① 有害鳥獣進入	<b>方止柵設置延長</b>	m	目標値		1	1,677	5,8	378	5,6
成				実績値		1	1,677	5,6	354	-
果	算出根拠等			達成率(%)			100		96	-
指標	指	標名	単位	目標·実績	H21	H2	22	H23見	込	H24計ī
	2			目標値						
				実績値						-
	71 - H-18- 7			1		<u> </u>				_
				H21 決算額		額			実	H24 施計画額
	歳出	(千円)	(A)		2,9	98	1	10,000		10,00
77	受益者負担(使用料	料•負担金等)								
内	その他特定財源(国	国·県支出金·起債等)	١							
訳	一般財源				2,9	98	1	10,000		10,00
		指標名		H21	H22		H23	見込	H	124計画
コス		り (円) (A	/B)		26,	768		29,070		40,1
۲		実施町内会々員	(B)			112		344		2
標	② 補助金(防止柵	資材費)1m当り(円)	1		1,	788		1,769		1,8
非核 一	旨票     戊果旨票     「才原内沢 コスノ旨	指 ② 算出根拠等	指標名 ② 算出根拠等 指標名 ① 有害鳥獣進入防止柵設置延長 算出根拠等 指標名 ② 算出根拠等 指標名 ② 算出根拠等 指標名 ② 算出根拠等 をおき繰越・補正を含む) 歳出(千円) 受益者負担(使用料・負担金等) その他特定財源(国・県支出金・起債等) 一般財源 指標名 ② 対象 のである。 ○ 対象 のである。 ・ 対象	指標名 単位 ② 算出根拠等	指標名 単位 目標・実績 目標値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 1 有害鳥獣進入防止柵設置延長 m 目標値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績	指標名 単位 目標・実績 H21 目標値 実績値 算出根拠等 指標名 単位 目標・実績 H21  有害鳥獣進入防止柵設置延長 m 目標値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績	指標名 単位 目標・実績 H21 H2	指標名 単位 目標・実績 H21 H22 目標値 実績値 実績値 実績値 実績値 写出根拠等	指標名   単位   目標・実績   H21   H22   H23見     日標値	指標名 単位 目標・実績 H21 H22 H23見込 目標値 実績値 実績値 実績値 実績値 実績値 第出根拠等

3	分	析•評価(Check)					
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など	
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく			
	1	計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	B (1)	一部結びつく	Α	有害鳥獣対策における防御事業の強化は、市長 公約に位置付けられ、緊急の課題となっている。	
		足及に祀ひ クくが	C (0)	結びつかない			
业		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している			
要性	2	事業の美胞に対する印 民のニーズの傾向はどう か	B (1)	ある程度のニーズがある	А	猪等の有害鳥獣による農作物等の被害は年々増加傾向にあり、市民ニーズは急増している。	
13			C (0)	少ない、減少している			
	Г		A (2)	市民全体におよぶ			
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	В	当該事業で設置する有害鳥獣進入防止柵は、集 落を取り囲むことが主な目的である。	
		25.5	<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される			
			A (2)	十分に達成している (100%以上)			
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	В	当該事業における年次計画に基づき実施している。	
			C (0)	あまり順調でない (75%未満)			
成	•	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2)	有効である		現在設置している有害鳥獣進入防止柵は、主に猪	
果面	5		B (1)	概ね有効である	В	を対象としている。今後は、ニホンジカ・ニホンザルの進入を防止するための資材を検討する必要	
ഥ	<u> </u>	XJ1±	<b>C</b> (0)	見直しが必要である		がある。	
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている		連合町内会等を通じ、事業実施に向けた要望を広く周知し、把握している。	
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への 対応	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В		
			<b>C</b> (0)	対応していない			
			A (2)	課題はない・解消されている		有害鳥獣進入防止柵に使用する資材について	
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	は、品質・性能・耐久性等を精査し、より効果のあるものを選定するよう、町内会等の事業実施主体	
コス			<b>C</b> (0)	対応していない		に周知している。	
ト 面			A (2)	適正である			
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	Α	事業の目的や性格から、受益者1件当たりのコストは適正であると判断できる。	
			<b>C</b> (0)	改善が必要である			
成果			A (4)	適正である		コストに見合った成果が上がっている一方、ニホン	
対 コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である		ジカ・ニホンザルの進入を防止するための資材を	
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である		追加検討する必要がある。	
		合計		14.0 / 20.0	10	70 /100	

4 今後の方向性(Action 1)

次年度の

議会からの 提言等

O 維持·改善

実施方針(担当課評価)		連合町内会等を通じ事業実施に向けた要望を広く把握し、併せて、事業に消極的な町内会等に対し積極的に きかける。						
		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価) ・一般予算によるバランスに配慮し実施する必要がある。								

廃止の検討

完了

拡大

5	予昇編成(Action2)	※	<b>守記人</b>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	10,000	10,000	0	10,000	10,000
	国庫支出金					
財						
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	10,000	10,000	0	10,000	10,000

		予算要求 の概要	有害鳥獣進入防止柵等の設置に対する助成					
		要求額 増減理由						
ı		①支所						
	_		J(集落内)に設置しているイノシシ捕獲檻を進入防止柵の外側に移設し、ぐ するなど、猟友会との連携を強化する必要がある。					
ı	事業	②本庁所管課(農務課)						
	業実施の課題	国庫事業「鳥獣被害防止総合対策事業」においての実施も検討する必要がある。						
		地域政策課						
		鳥獣害は全市的な問	<b>引題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。</b>					

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事	業名	61	199	道の駅周辺整備事業事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線
		枝 番							3632
	事業名       核番       会計       事業名       表       事業名       表       項       目		1	一般会計	<sub>/-</sub> 特		Α	合併前から実施されているイベント	ト•行事
予			6	商工費	位置付付		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業
算			1	商工費	1+ 昇	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	E	I	1	商工振興費	9		D	その他事業	
市	長の糸	内束							

1 事業の目的・概要(Plan)

	<b>ナルッロロ</b> 17	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
	誰を(対象)	観光入込客及び市民	受益者数	8,000 人
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	地域活性化の拠点施設としての利用		
概要	事業の 実施手法 (手段)	進入路・排水路・すずらん畑の整備		
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント			

2 事業の推移・結果(Do) 指標名

2	# 2	木い	/ ] 生 作夕 : 小「	<del>【果(Do)</del>								
				指標名	単位	目標·実績	H21		H22	H23見	<u>Z</u>	H24計画
		•	# 6 *		,	目標値						8,000
	_	(1)	集客数		人	実績値						-
	活動	算品	出根拠等	道の駅来客数	•	達成率(%)						-
	指標			指標名 指標名	単位	目標・実績	H21		H22	H23見	<u>ک</u>	H24計画
	IN	2				目標値						
		V)				実績値						-
成 果		算品	出根拠等			達成率(%)						-
木面				指標名	単位	目標·実績	H21		H22	H23見	<u>ک</u>	H24計画
		<b>1</b>	交流人口	1	   千人	目標値						8,000
	r#:	9	スルスロ	•	1 /	実績値						-
	成果指	算品	出根拠等	道の駅来客数		達成率(%)						-
	指標			指標名	単位	目標・実績	H21	H22		H23見込		H24計画
		2			人	目標値						
		)				実績値						-
		算出	出根拠等			達成率(%)				<u> </u>		-
			(人件費	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H: 予算		実	H24 施計画額
				歳出(千円) (	(A)							5,000
	財	受益	监者負担	(使用料・負担金等)								
_	源内	その	の他特定	財源(国・県支出金・起債等)								
コスト	訳	— 甪	投財源									5,000
面				指標名		H21	H22		H23	見込	ŀ	H24計画
	コス	1)	受益者1	件当たり(円) (A	/B)							625
	ト指	•	受益者	各前年イベント入込数	(B)							8,000
	押標	2										
		算	出根拠等									

		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	В	地域活性化の拠点施設の利活用の向上
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない	1	
ìX.		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		
要件	2	民のニーズの傾向はどうか	B (1)	ある程度のニーズがある	В	地域住民がふれあいを実感し、地域づくり意識 高揚
Ξ		70'	<b>C</b> (0)	少ない、減少している		
			A (2)	市民全体におよぶ		
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	В	気楽に立ち寄れる公園となる
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される		
			A (2)	十分に達成している (100%以上)	評価	
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	対	
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)	<b>象</b> 外	
龙		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である	評価	
果面	(5)	めの手法・活動内容の有効性	B (1)	概ね有効である	対象	
刞		対注	<b>C</b> (0)	見直しが必要である	外	
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている	評価	
	<b>6</b>	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	対象	
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない	外	
			A (2)	課題はない・解消されている	評価	
	7	コスト縮減に向けた改 善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	対象	
コ ス			<b>C</b> (0)	対応していない	外	
面			A (2)	適正である	評価	
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	対 象	
			<b>C</b> (0)	改善が必要である	外	
找果:			A (4)	適正である	評価	
対 コ	9	成果に対するコスト(人  件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	対象	
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である	外	
		合計		3.0 / 6.0	10	0点換算 50 /100

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善		拡大		縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	地域	活性化の拠点施	設とし	ての利活用を図	<b>ა</b>			

	維持·改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合評価					
(二次評価)					

5	<u> </u>	※	可記入			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	0	5,000	5,000	0	0
	国庫支出金					
財	県支出金					
源 内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	0	5,000	5,000	0	0

	予算要求 の概要	施設等整備にかかる工事費						
	要求額 増減理由	新規事業のため						
	①支所							
	利用·誘客促進							
事業	②本庁所管課(商工課)							
事業実施の課題	対観光客や地域住民に施設が有効活用されるよう、地域において創意工夫を重ね、活用 財り組む必要がある。							
	地域政策課							
	本事業が道の駅の対分に検証する必要が	活性化、誘客増にどのようにつながるか、維持管理を含め費用対効果を十がある。						

	今後の施設のあり方や利活用方針が未定であるため見送り
財務部査定 の考え方	
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

₫	業名	624	199	乗鞍・御岳登山道管理事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線			
7	会計			大秋·阿田豆田坦自在于末	正二杯			初口又加 坐置性未成	3632			
	合併前から実施されているイベン	ト・行事										
予	7 年		6	商工費	位置付別予質		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	ている事業			
算	算 項		2	観光費	1+ 昇	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業			
	E	ı	3	自然公園費	'′		D	その他事業				
市	長の糸	京	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有 資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとする 関係者をはじめ、地域住民などの関係 図ります。	ため、飛	騨均	也域	の民間組織と行政、観光				

### 1 事業の目的・概要(Plan)

_	T / 47   11   7	2 (* *****)		
	誰を(対象)	来訪者(登山者)	受益者数	不特定多数
目的		来訪者が安全に自然に親しめるよう、乗鞍及び御岳の登施する。	登山道の維持管理	と環境整備を実
相要	事業の 実施手法 (手段)	業務委託により、下層植物について登山道の刈り払い等	きをおこなう。	
育	が回の評価からの 改善・改革 のポイント	登山ル一トを区切り年次計画を立てる。		

				指標名	単	位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
	Ī	<b>1</b>	委託業務	x 同 米h		<u> </u>	目標値			1		1	1
277		•	女礼未仍	四奴		1	実績値			1		1	
活動	b l	算は	出根拠等	年1回	•		達成率(%)			100	1	00	-
指標	自票			指標名	単	位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
"		2					目標値						
		٧					実績値						-
或 果 —		算占	出根拠等				達成率(%)						-
面				指標名	単	位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
		1)					目標値						
		Ū					実績値						-
<b>成果</b>	艮	算と	出根拠等				達成率(%)						-
指標	自悪			指標名	単	位	目標·実績	H21		H22	H23見	込	H24計画
"		2					目標値						
		Ū					実績値						-
		算と	出根拠等				達成率(%)						-
			(人件費	事業費 と除き繰越・補正を含	む)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H2 予算		実	H24 施計画額
				歳出(千円)	(A)			1	98		200		612
斯	2	受益	益者負担	(使用料・負担金等)									
温 は	泉 り	その	D他特定原	<b>財源(国・県支出金・</b> 規	起債等)								
ス部	尺	— 舟	<b>殳財源</b>					1	98		200		612
面				指標名			H21	H22		H23	見込	H	124計画
=	Z	1	受益者1	件当たり(円)	(A/B)			#DIV	//0!	#	DIV/0!		#DIV/0
ト 指	\	·	受益者		(B)								
標	日票	2											

3	分	析・評価(Check)							
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など			
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく					
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	Α	・「すみよさ」のあるまちをめざして、環境保全に取り組んでいる。			
		達成に結びつくか	C (0)	結びつかない					
心		事業の実施に対する市	<b>A</b> (2)	非常に多い、急増している					
要性	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	В	・登山者からの通行安全に対してのニーズがある。			
性		か	C (0)	少ない、減少している					
			A (2)	市民全体におよぶ					
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	С	・利用者が限られる為。			
			C (0)	わずかな受益者に限定される					
			A (2)	十分に達成している (100%以上)					
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	В	・達成されている。			
			C (0)	あまり順調でない (75%未満)					
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である					
果面	⑤	めの手法・活動内容の有効性	B (1)	概ね有効である	В	・・登山客の安全を確保する為の環境整備は有効である。			
山		XJ1±	<b>C</b> (0)	見直しが必要である					
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている					
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・地理や植生に精通した者でなければ安全且つ適 正に作業が出来なため			
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない					
			A (2)	課題はない・解消されている					
	7	コスト縮減に向けた改 善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	С	・初級登山道であるが、経費の節約は難しい			
コス			<b>C</b> (0)	対応していない					
ト 面			A (2)	適正である	評価				
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	対象	・受益者が不特定多数な為			
			C (0)	改善が必要である	外				
成果		*B1=+1-+-7	A (4)	適正である	_				
対コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	・投入コストに見あった成果が上がっている。			
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である					
		合計		10.0 / 18.0	10	0点換算			

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	安全	に自然に親しめる	ふよう돼	環境を充実			

	0	維持•改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
総合評価 (二次評価)	• <b>L</b> \<	つもの地域で登山	山道螯	を備があるが、今行	後は有	「効なもののみを)	選択し	ていく必要がある	5.	

5	<u> </u>	※	可記入			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	200	612	412	600	600
	国庫支出金					
財	県支出金					
源 内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	200	612	412	600	600

	予算要求 の概要	・登山道の維持管理								
	要求額 増減理由	・草刈り距離の延長に伴う増								
	①支所									
	・登山道の延長が長い為、笹による荒廃箇所の手入れを継続的に実施する事が困難になって いる。ボランティア等の協働を検討していく。									
事業	②本庁所管課(地	域政策課)								
業実施の課題	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。									
	地域政策課									

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
市長査定の考え方	財務部調整どおり

_										
폌		469	99	美女ケ池浄化・美化保全事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線	
7	事業名			大久7/2/7 1L * 大1L 休工学术	正二味			3		
	会計		1	一般会計	点特		Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事	
予		7		土木費	位置付別予質	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業	
算	項		4	都市計画費	1十 昇		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業	
	目		6	公園管理費	່"		D	その他事業		
市長の約束			1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有 資源として積極的に活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとする 関係者をはじめ、地域住民などの関係 図ります。	ため、飛	騨地	也域	の民間組織と行政、観光		

### 1 事業の目的・概要(Plan)

_	<u> </u>	T A V L I I	i支(I lall)		
		誰を(対象)	来場者	受益者数	
	目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	水生植物や草花を植栽し、池の水の浄化や池周辺の景さわしい美女ケ池の姿を再生する。	観美化を図り、台	↑併記念公園にふ
7 -	概要	事業の 実施手法 (手段)	浄化植物植栽 美化植物植栽		
	前	回の評価からの 改善・改革 のポイント	なし		

		指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	<u>₩</u> H24計画
		① 浄化・美化植物植栽面積	m²	目標値			7	1 7
2:		() / 710 天心恒初恒双画慎	""	実績値			7	1 -
3	IJI	<mark>算出根拠等</mark> 植栽発注面積71㎡/実績		達成率(%)			10	0 -
才	<b>治</b> 票	指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2		目標値				
				実績値				-
或 果 –	_	算出根拠等		達成率(%)				-
面		指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		① 利用者数	人	目標値	17,000	15,000	11,00	0 10,00
J.	<b></b>			実績値	15,056	11,465	10,00	0 -
5	果指	<mark>算出根拠等</mark> 公園来場者/年		達成率(%)	89	76	9	1
<b>才</b>	语票.	指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2		目標値				
	ŀ	At a large to		実績値				-
+		<mark>算出根拠等</mark>	_	達成率(%)				<u> </u>
		事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込物	H: 類 予算		H24 実施計画額
		歳出(千円) (A	()				1,140	1,20
	4.1	受益者負担(使用料·負担金等)						
<b>-</b> [	시	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	$\perp$					
ストー	沢	一般財源					1,140	1,20
面		指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
- 5	コス	受益者1件当たり(円) (A/E	3)				104	1
t t	ト当	受益者 来場者 (E	3)		11,4	65	11,000	10,0
<b>*</b>	票	2						

		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
		東番の史佐が主の公人	A (2)	結びつく				
	1	事業の実施が市の総合 計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	А	・合併記念公園として位置づけられている美女高原の自然を守り、観光の資源とする。		
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない				
ιίλ		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している				
必要	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	А	・美女高原の自然資源を守るための事業であり、 市民のニーズは高い。		
性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している		1,1,2,1,0		
			A (2)	市民全体におよぶ				
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	Α	・来場者が対象であり、綺麗な草花は心を和ませる。		
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される				
			<b>A</b> (2)	十分に達成している (100%以上)	評価			
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	<b>B</b> (1)	概ね達成している (75%以上)	対象	・23年度新規事業である。		
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)	外			
成		成果向上・目的達成のた	<b>A</b> (2)	有効である	評価			
果面	(5)	めの手法・活動内容の有 効性	<b>B</b> (1)	概ね有効である	対象	・23年度新規事業である。		
ш		MIL	<b>C</b> (0)	見直しが必要である	外			
		事業実施における課題	<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている	評価			
	6	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	対象	・23年度新規事業である。		
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない	外			
		コスト縮減に向けた改	<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている	評価			
_	7	善・工夫		改善・工夫に取り組んでいる	対象	・23年度新規事業であるため。		
スト				対応していない	外			
面	_			適正である	評価			
	8	受益者1件当たりのコスト		概ね適正である	対象	・コストの妥当なラインが不明である。		
成				改善が必要である	外評			
ル果 対		成果に対するコスト(人	A (4)	適正である	価			
ペコス	9	件費も考慮)は適正か		概ね適正である	対 象	・コストの妥当なラインが不明である。		
<u>}</u>	L		C (0)	改善が必要である	外 10	O.上版第		
		合計		6.0 / 6.0	10	0点換算 100 /100		

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善	拡大	縮小	廃止の検討		完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)			裁するには、成果 るために植栽する			ある。	

	0	維持·改善	拡大	縮小		廃止の検討		完了
総合評価 (二次評価)		きの継続について とについては、H23			し、対	策を検討する必動	要があ	o <b>ā</b> .

	5	予算編成(Action2)	※予算要求	<u> </u>			
		事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
		歳出(千円)	1,200	1,200	0	1,200	1,200
		国庫支出金					
		県支出金					
	源内	起債					
	訳	その他					
L		地域振興特別予算	1,200	1,200	0	1,200	1,200

	予算要求 の概要	植栽工事						
	要求額 増減理由							
	①支所							
	平成23年度に実施した浄化事業の検証等、調査を継続すること。							
事業	②本庁所管課(都市整備課)							
事業実施の課題	美女ヶ池への汚泥の流入を抑制する検討が必要							
	地域政策課							
	今までの事業の検証	Hを踏まえ、今後の対応方針を定めることが必要である。						

	要求どおり
財務部査定	
の考え方	
	財務部調整どおり
市長査定の考え方	

I	事	<b>業名</b> 枝	299	食用油リサイクル事業	担当課			朝日支所 地域振興課	内線	
		番							3621	
		会計	1	一般会計	世 位 知		Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事	
	予 算	款	4	衛生費	置型		В	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
4		項	2	清掃費	计算	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業	
		目	2	塵介処理費	"		D	その他事業		
1	市县	長の約束	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市環境保全に取り組みます。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全取り組まなければならない重要な問題で品の開発など環境改善につながる取り組	:活用など あるため	、環 、バ·	境( イオ	マスの利活用や間伐材・林地		

### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	·回収(朝日、高根、国府町)·使用(公用車4台)	受益者数	93,312 人			
目的		使用済み食用油を、回収、精製処理しリサイクル燃料と サイクル意識の向上を図るとともに、地球温暖化対策を	処理しリサイクル燃料として使用することにより、市民のリ に、地球温暖化対策を推進する。				
概要 事業の 実施手法 (手段) 一般家庭より排出される食用廃油を月1回、拠点集積所において回収する。 回収した食用廃油については、処理施設で精製し、支所及び資源RC等の公して活用する。							
前	「回の評価からの 改善・改革 のポイント						

単位 目標·実績 H21 H22 H23見込 H24計画

# 2 事業の推移・結果(Do) 指標名

日本語画					11 12 1		11 /A /A			112000	~	пени
実績値   1,677   2,242   2,500   -			1	<b>         </b>			目標値	2,500	2,500	2,5	00	2,500
動調性機響   接換等   接換等   接換等   接換   接換   接換   接換		江	9	<b></b>	旧以里	_	実績値	1,677	2,242	2,5	00	-
横		動	算出	出根拠等			達成率(%)	67	90	) 1	00	
BDF精製量   L   目標値   2,500		指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
実績値   2,120   2,240   2,500   一			<b>②</b>	BDF結集	U 류		目標値	2,500	2,500	2,5	00	2,500
面 指標名 単位 目標・実績 H21 H22 H23見込 H24計画  ① BDF使用量(資源RC、国府車含む) L 目標値 2,500 2,500 2,500 2,500			)	DDI 1H2	( <b>±</b>		実績値	2,120	2,240	2,5	00	-
面 指標名 単位 目標・実績 H21 H22 H23見込 H24計画  ① BDF使用量(資源RC、国府車含む) L 目標値 2,500 2,500 2,500 2,500	成果		算品	出根拠等			達成率(%)	85	90	) 1	00	-
The content of t	面				指標名	単位	目標•実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
実績値   2,025   2,203   2,500			1	DBDF使用量(資源RC、国府車含む)		1	目標値	2,500	2,500	2,5	00	2,500
果 算出根拠等     達成率(%)     81     88     100       指標名     単位 目標・実績 H21     H22     H23見込 H24計画       算出根拠等     事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)     上21     大算額 決算見込額 予算額 実施計画額       成出 (千円)     (A)     115     101     410     213       財源 (本の他特定財源(国・県支出金・起債等)     115     101     410     213       日標値 (大件費を除き繰越・補正を含む)     大算額 (大算額 大算見込額 (大算額 大算見込額 (大算額 大算見込額 (大算額 大算見込額 (大算額 大算別記額 (大算額 大算額 (大算額 大算別記額 (大算額 大算額 (大算額 大算別記額 (大算額 大算額 (大算額 大算額 (大算額 (大算額 大算額 (大算額 (		ct:	•				実績値	2,025	2,203	2,5	00	
押機   日標値   日本の   日本の		及果	算品	出根拠等			達成率(%)	81	88	3 1	00	
目標値   実績値   -		指標		指標名		単位	目標·実績	H21	H22	H23見	込	H24計画
実績値			<b>②</b>				目標値					
事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)     H21 決算額     H22 決算額     H23 予算額     H24 実施計画額       歳出 (千円)     (A)     115     101     410     213       財 (大面)     受益者負担(使用料・負担金等) (子の他特定財源(国・県支出金・起債等) (子の他特定財源(国・県支出金・起債等) (子の他特定財源(国・県支出金・起債等)     115     101     410     213       指標名     H21     H22     H23見込     H24計画       受益者 市民(4月1日現在)     (B)     94,235     93,822     93,212     93,200       理報     ②     ②     94,235     93,822     93,212     93,200			)				実績値					_
(人件費を除き繰越・補正を含む) 決算額 決算見込額 予算額 実施計画額 歳出 (千円) (A) 115 101 410 213 財 受益者負担(使用料・負担金等) での他特定財源(国・県支出金・起債等) おいて 上海 指標名 H21 H22 H23見込 H24計画 受益者1件当たり(円) (A/B) 1 1 4 2 受益者 市民(4月1日現在) (B) 94,235 93,822 93,212 93,200 第3,200 日本 では、 日本			算品	出根拠等			達成率(%)					_
財 受益者負担(使用料・負担金等)				(人件費を								
その他特定財源(国・県支出金・起債等)   115   101   410   213   115   101   110					歳出(千円) (	A)	115	1	01	410		213
大の他特定財源(国・県文田金・起債等)			受护	益者負担(	使用料・負担金等)							
スト面     指標名     H21     H22     H23見込     H24計画       受益者     市民(4月1日現在)     (B)     94,235     93,822     93,212     93,200       指標     ②     (B)     94,235     93,822     93,212     93,200	П	内	その	の他特定則	対源(国・県支出金・起債等)							
面     指標名     H21     H22     H23見込     H24計画       受益者     市民(4月1日現在)     (B)     94,235     93,822     93,212     93,200       指標     ②     2     93,200     93,200		訳	— 角	投財源			115	1	01	410		213
ス					指標名		H21	H22	H23	3見込	H	124計画
ト     受益者     市民(4月1日現在)     (B)     94,235     93,822     93,212     93,200       指標     ②			1	受益者16	牛当たり(円) (A/	/B)	1		1	4		2
		۲	•)	受益者	市民(4月1日現在) (	B)	94,235	93,	822	93,212		93,200
算出根拠等		標	2									
			算	出根拠等								

		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など	
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく			
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	Α	廃食油の分別回収、再資源化は地球温暖化防山 対策や環境保全などの一環としての取り組みである。	
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない		გ. 	
必		事業の実施に対する市	<b>A</b> (2)	非常に多い、急増している			
要	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	В	今後も市民のリサイクル意識の向上を図る必要がある。	
性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している			
			<b>A</b> (2)	市民全体におよぶ		廃食油の分別回収、再資源化は地球温暖化防止	
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	Α	対策や環境保全などの一環としての取り組みであるが、精製されたBDF燃料の利用方法と回収範	
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される		囲の拡大等今後の検討が必要。	
			A (2)	十分に達成している (100%以上)			
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	В	現在公用車4台を使用しており、4台分の廃油を と精製を行っている。	
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)			
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である			
果面	⑤	めの手法・活動内容の有効性	B (1)	概ね有効である	В	各家庭からの廃油の回収が減少しており、再度! サイクルへの意識の向上を図る。	
囲		幼荘	<b>C</b> (0)	見直しが必要である			
		事業実施における課題 の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	A (2)	課題はない・解消されている		各家庭からの廃油の回収が減少しており、再度 サイクルへの意識の向上を図ることや回収範囲 拡大等検討が必要	
	6		<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる			
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない		加入守快引か必安	
			<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている			
	7	コスト縮減に向けた改  善・工夫	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	シルバーへ委託し、需要に応じ精製を行い経費負減を行っている。	
コス			<b>C</b> (0)	対応していない			
ト面			<b>A</b> (2)	適正である			
	8	受益者1件当たりのコスト	<b>B</b> (1)	概ね適正である	Α	需用に応じ精製業務を行っており、必要最小限の 支出をしている。	
			<b>C</b> (0)	改善が必要である			
成果		- N. T 1 / 1	<b>A</b> (4)	適正である			
対 コ		成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である		需用に応じ精製業務を行っており、必要最小限の 支出をしている。	
スト			<b>C</b> (0)	改善が必要である			
		合計		16.0 / 20.0	10	0点換算 80 /100	

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
3	BDF がある		いりつ	つあり、今後の使	用方	法等全市的な取り	り組み	への検討し一般	予算で	?継続する必要

	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
8合評価 二次評価)		に対する効果を る必要がある。	検証す	する必要がある。	なお、	コスト面を考慮に	入れ	、全市的な取り組	ぱみのき	実施について検

議会からの 提言等

5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

<u> </u>	了异洲以(Actionz)	不了异女不	17 11071			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	410	213	△ 197	220	220
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	410	213	△ 197	220	220

予算要求 の概要	一般家庭より排出される食用油の回収・精製にかかる経費
要求額增減理由	BDF対象車両の減少による

回収ついては朝日、高根、国府町で実施しており、回収量が不足している。また、BDF対象車 両が無くなりつつあり、回収及び使用方法等検討が必要。

### ②本庁所管課 (生活環境課)

・市が精製したBDFは、公用車での使用となるが、岐阜県では不正軽油取締りの観点から軽油 への混合は認められておらず、現状では安定した需要が見込めない。 ・精製機械の耐用年数を勘案の上、当該リサイクル事業の継続についての検討が必要。

・民間による回収ルート、資源化ルートが確立されつつあり、リサイクルという観点から見れば、 回収量の増大等について多面的な検討が必要。

#### 地域政策課

地球温暖化対策は様々な取組みが可能のため、将来性を含め事業を今後も推進すべきかどう かの検証が必要である。

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
市長査定	財務部調整どおり
の考え方	

事	<b>宝</b> 坐 夕		399	モンキードッグ活動支援事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線
7	ж·п	枝 番		こと、「ファルスススタデス	三二杯			初日久川 坐血圧不断	3631
	会	#	1	一般会計	<u> </u>		Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	款	7	5	農業水産業費	世別置る		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業
算	項	Į	1	農業費	付算	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	E		3	農業振興費	ິ'		D	その他事業	
市長の約束		京	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業をその有害鳥獣対策が緊急の課題であるための加工販売など活用方策について具体	め、駆除と	上防征			

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	朝日地域の市民	受益者数	592 件				
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	ンキードッグ出動を強化し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。						
概要	事業の 実施手法 (手段)	モンキードックの活動に対する助成						
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント	月1回日時を定めて、一斉出動を実施する。						

単位 目標·実績 H21 H22 H23見込 H24計画

# 2 事業の推移・結果(Do) 指標名

				10 10 0		11 /A /A			_	112000	~	пени
		<b>1</b>	エンキー	ドッグ出動回数		目標値	420		420	4	120	420
	江	<b>①</b>	17	トラブ山到凹数	ī	実績値	383		243	4	100	
	活動	算占	出根拠等	10回×6ヶ月×7頭		達成率(%)	91		58		95	-
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H2	22	H23見	込	H24計画
		2				目標値						
		ı)				実績値						-
成 果		算品	出根拠等			達成率(%)						_
木面				指標名	単位	目標·実績	H21	H2	22	H23見	込	H24計画
		①				目標値						
	4	0				実績値						-
	成果指	算上	出根拠等			達成率(%)						-
	指標			指標名	単位	目標・実績	H21	H2	22	H23見	込	H24計画
	1224	2				目標値						
		<b>(</b> 2)				実績値						-
		算は	出根拠等			達成率(%)						-
			(人件費を	事業費 と除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込	額	H2 予算		実	H24 施計画額
				歳出 (千円) (	A)		2	40		240		210
	財	受益	益者負担(	(使用料・負担金等)								
П	源内	その	の他特定則	<b>状源(国・県支出金・起債等</b> )								
ス	訳	——舟	设財源				2	40		240		210
ト面				指標名		H21	H22		H23	見込	H	H24計画
	コス	①	受益者1	件当たり(円) (A/	/B)			405		405		355
	۲	<b>①</b>	受益者	出動対象町内会世帯数(	B)			592		592		592
	指標	2										
		算	出根拠等									

3	分	折•評価(Check)						
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
		事業の実施が市の総合	<b>A</b> (2)	結びつく				
	1	計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	B (1)	一部結びつく	Α	有害鳥獣対策における防御事業の強化は、市長 公約に位置付けられ、緊急の課題となっている。		
		達成に結びづくか	C (0)	結びつかない				
ıΝ		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		 猿による農作物等の被害は年々増加傾向にあり、		
要性	_	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	Α	生活環境をも脅かされており、市民ニーズは急増している。		
111		か	C (0)	少ない、減少している		الماني		
			A (2)	市民全体におよぶ				
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	С	出動対象区域は、朝日地域に限られる。		
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される	1			
			A (2)	十分に達成している (100%以上)				
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	С	出動回数は少ない傾向にある。		
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)				
成		成果向上・目的達成のた	<b>A</b> (2)	有効である				
果	⑤	めの手法・活動内容の有	B (1)	概ね有効である	С	積極的に出動できる環境を整える必要がある。		
面		効性	<b>C</b> (0)	見直しが必要である				
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている				
	6	の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	モンキードッグのさらなる育成、再訓練が急務である		
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない				
			A (2)	課題はない・解消されている				
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	専門の訓練所以外にモンキードッグを育成する 方法を検討中である。		
コス			C (0)	対応していない				
ト 面			A (2)	適正である				
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	Α	コスト的には問題はない。		
			C (0)	改善が必要である				
成果			A (4)	適正である				
対 コ ス	9	成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	コスト的には問題はない。		
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
		合計		12.0 / 20.0	10	0点換算 60 /100		
				/ 20.0		7 / 100		

### 4 今後の方向性(Action 1)

議会からの 提言等

		維持·改善	0	拡大		縮小		廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	モン	キードッグをさらに	育成	し、1町内1頭以、	上配置	置する方向で検討	する。	,	

	0	維持·改善	拡大	縮小		廃止の検討		完了
総合評価 (二次評価)	る必要	要がある。	あり、早急な対応 いても検討する必		ドッグ	の効果が持続す	るかに	こついて検討す

#### 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

<u> </u>	了异洲以(ACUONZ)	不了异女不	可配八			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出 (千円)	240	210	Δ 30	210	210
	国庫支出金					
財						
源内	起債					
訳						
	地域振興特別予算	240	210	Δ 30	210	210
		•				

予算要求 の概要	モンキードックの活動に対する助成
要求額 増減理由	モンキードッグが減ったため
①支所	
	モンキードッグの頭数が増えていない。朝日地域全般に活動範囲を広げ

# るため、モンキードッグをさらに育成する必要がある。

### ②本庁所管課 ( 農務課 )

朝日地域ぐるみで被害の状況やサル群把握等を行う中で、地域住民と一体となった効果的、 効率的な被害防止が重要である。その一つの方法として「モンキードック」も有効な手段であ

#### 地域政策課

鳥獣害は全市的な問題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

市	業名	54199		地域生活道路環境保全事業	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線
<b>→</b>	未石	枝番		( 農道分 )	担ヨ砞			朝口又別 基盤性未味	3631
	会詞	+	1	一般会計	<sub>位</sub> 特		Α	合併前から実施されているイベント	・・行事
予	款	7	5	農業水産業費	置別	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	る事業
算	項	ij	4	農業土木費	计算		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	目		1	農業土木総務費	ິ'		D	その他事業	
市	長の糸	東							

1 事業の目的・概要(Plan)

_	7 A 47 D 17 17			
	誰を(対象)	市民および農道通行者	受益者数	不特定多数
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	農道の管理		
概要	事業の実施手法(手段)	広域営農団地農道の交通安全確保のための除草 W=1	.0 м	
育	が回の評価からの 改善・改革 のポイント			

2 事業の推移・結果(Do) <sub>場標名</sub>

目標値   実績値	—————————————————————————————————————
実績値       実績値       算出根拠等     2回発行/月×12月     達成率(%)       指標名     単位 目標・実績 H21 H22 H23見:       資出根拠等     道成率(%)       指標名     単位 目標・実績 H21 H22 H23見:       1 除草面積     面 「100 5,800 5	—————————————————————————————————————
動 算出根拠等     2回発行/月×12月     達成率(%)       指標名     単位 目標・実績 H21 H22 H23見       日標値     実績値       実績値     実績値       1 除草面積     単位 目標・実績 H21 H22 H23見       1 除草面積     面	—————————————————————————————————————
標     12     112	—————————————————————————————————————
2     目標値 実績値       算出根拠等     達成率(%)       指標名     単位 目標・実績 H21 H22 H23見 目標値 7,100 5,800 5,8 実績値 7,100 5,800 5,8	— — — — — — —————————————————————————
実績値       実績値       違成率(%)       指標名     単位 目標・実績 H21 H22 H23見       1 除草面積     m²     目標値 7,100 5,800 5,8       実績値 7,100 5,800 5,8	— — — — — — —————————————————————————
1 除草面積	込 H24計画
1 除草面積	
①   除草面積   m <sup>2</sup>   実績値   7,100   5,800   5,8	
	5,800
	00 –
成果     算出根拠等     達成率(%)     100     100     1       指標名     単位目標・実績     H21     H22     H23	00 –
指 指標名 単位 目標·実績 H21 H22 H23見:	込 H24計画
2 目標値	
実績値	-
<b>算出根拠等</b> 達成率(%)	-
事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)       H21 決算額       H22 決算見込額       H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円) (A) 375 378 400	400
財 受益者負担(使用料·負担金等)	
コ	
ス 訳 一般財源 375 378 400 400 1	400
上面     指標名     H21     H23見込	H24計画
受益者1件当たり(円) (A/B) 696 701 742	742
ト     受益者     (B)     539     539	539
[標 ②]	
算出根拠等	

3	分科	折・評価 (Check)		==./ <del>== += :#</del>	=# /#F	ᆕᄺᆂᄼᇰᇎᄱᄼᅝ		
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
		事業の実施が市の総合		結びつく				
	(1)	計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	B (1)	一部結びつく	Α	田舎暮らしの田園風景を保全できる。		
		22/20 - 440 - 470	<b>C</b> (0)	結びつかない				
必		事業の実施に対する市	<b>A</b> (2)	非常に多い、急増している				
要 性	2	民のニーズの傾向はどうか	<b>B</b> (1)	ある程度のニーズがある	Α	沿線の景観保全とドライバーの視野拡大		
"-			<b>C</b> (0)	少ない、減少している				
			<b>A</b> (2)	市民全体におよぶ				
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	Α	・不特定多数が利用されるため。		
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される				
		+ # - <b>**</b> - <b>*</b> -	<b>A</b> (2)	十分に達成している (100%以上)				
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	Α	必要な除草面積を確保しており、交通の安全を 図っている。		
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)				
成		成果向上・目的達成のた	<b>A</b> (2)	有効である				
果面		めの手法・活動内容の有効性	<b>B</b> (1)	概ね有効である	Α	シルバー人材センターに委託することにより、高 齢者の就業機会が図られる。		
囲		XJIII	<b>C</b> (0)	見直しが必要である				
		事業実施における課題	<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている				
	<b>6</b>	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・年2回の草刈りが理想だが、1回しか実施できない。		
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない				
			<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている				
Ļ	7	コスト縮減に向けた改 善・エ夫	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	シルバー人材センターに委託することにより、コスト縮減が図られる。		
コス			<b>C</b> (0)	対応していない				
ト 面			<b>A</b> (2)	適正である	評価			
	8	受益者1件当たりのコスト	<b>B</b> (1)	概ね適正である	対	・受益者が不特定多数であるため。		
		C (0) 改善が必要である		象 外				
成果		h=-	A (4)	適正である				
対コス	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	シルバー人材センターに委託することにより、コスト縮減が図られる。		
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
		合計		17.0 / 18.0	10	0点換算 94 /100		

4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	引き	続き除草し、交通	の安全	全を確保する。			

		維持·改善		拡大	0	縮小		廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	•農道	重の草刈りについ	ては、	地域や営農者に	よる自	目主的な維持管理	埋を求る	める必要がある。	

議会からの 提言等

<u> </u>	了异种以(ACUONZ)	<b>水 / 异女木</b>	可配八			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出 (千円)	400	400	0	400	400
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	400	400	0	400	400

	予算要求 の概要	県営広域営農団地農道の草刈・除草にかかる経費									
	要求額 増減理由										
	①支所										
	今後は、地元町内会活動における草刈り作業、あるいは、ボランティア活動へ移行の方向で 検討する必要がある。										
事業	②本庁所管課 ( 農務課 )										
(実施の課題	今後も農畜産物の物	今後も農畜産物の物流経路及び交通の安全を確保するためにも、事業の継続が必要である。									
	地域政策課	地域政策課									
	樹木花等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。										

財務部査定 の考え方	要求どおり
	財務部調整どおり
市長査定 の考え方	

事	業名 技	299	地域生活道路環境保全事業 ( 市道分 )	担当課			朝日支所 基盤産業課	内線 3631
	会計	1	一般会計	特		Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	款	7	土木費	位置 付 付	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	2	道路橋りょう費	1+ <del>71</del>		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	目	2	道路橋りょう維持費	"		D	その他事業	
市	長の約束							

1 事業の目的・概要(Plan)

_	サネッロロック	i支(I idil)		
	誰を(対象)	市民および道路通行者	受益者数	不特定多数
	どういう状態 にしたいのか (意図)	沿道景観を保持する。(市道) 「さくらロード」「もみじ街道」の景観保持および植樹帯の	保護。(国・県道)	
木玉	悪 実施手法 (手段)	町内沿道の清掃及び草刈り。		
1	前回の評価からの 改善・改革 のポイント	なし		

				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		1	と は草が	11.1		目標値	1	1	1	1
	江	10 加速中州 7		19	ш	実績値	1	1	1	
	活動	算品	出根拠等	委託発注1回		達成率(%)	100	100	100	-
	指標	指標名				目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2	<b>②</b>			目標値				
		u)				実績値				-
成果面		算品	出根拠等			達成率(%)				-
木面				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		1	草刈り面	<b></b>	m²	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000
	r#:	•	半州り田	1 <u>p</u>	""	実績値	60,000	60,000	60,000	-
	成果指	<mark>算出根拠等</mark> 延長×2/年			達成率(%)	100	100	100	-	
	指標	指標名			単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2				目標値				
		u)				実績値				-
		算品	出根拠等			達成率(%)				-
			(人件費る	事業費 と除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込	H2 額 予算		H24 E施計画額
				歳出 (千円)	(A)	937	9	38	950	1,000
	財	受益	监者負担	(使用料・負担金等)						
⊐	源内	その	の他特定則	<b>財源(国・県支出金・起債等</b> )						
スト	訳	— 甪	投財源			937	9	38	950	1,000
面				指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
	コス	1)	受益者1	件当たり(円) (A	/B)	493	,	494	500	526
	ト指標			(B)	1,900	1,9	900	1,900	1,900	
	標	2								
		算	出根拠等							

3	分	折•評価(Check)						
		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく				
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	Α	田舎暮らしの田園風景を保全できる。		
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない				
必		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している				
要性	2	民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	Α	沿線の景観保全とドライバーの視野拡大		
性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している				
			A (2)	市民全体におよぶ				
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	Α	・不特定多数が利用されるため。		
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される				
			<b>A</b> (2)	十分に達成している (100%以上)				
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	Α	・予定箇所(路線)の草刈りはおこなっている。		
			<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)				
成		成果向上・目的達成のた めの手法・活動内容の有 効性	A (2)	有効である				
果	⑤		B (1)	概ね有効である	В	・年2回の草刈りが理想だが、予算的に達成できていない。		
面			<b>C</b> (0)	見直しが必要である				
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている				
	6	の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	・年2回の草刈りが理想だが、1回しか実施できない。		
		対応	C (0)	対応していない				
			A (2)	課題はない・解消されている				
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	シルバー人材センターに委託することにより、コスト縮減が図られる。		
コス			C (0)	対応していない				
ト 面			A (2)	適正である	評価			
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	対	・受益者が不特定多数であるため。		
			<b>C</b> (0)	改善が必要である	象 外			
成果			A (4)	適正である	·			
対 コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	シルバー人材センターに委託することにより、コスト縮減が図られる。		
スト			<b>C</b> (0)	改善が必要である				
		合計		16.0 / 18.0	10	0点換算 89 /100		

4 今後の方向性(Action 1)

		維持·改善	0	拡大		縮小		廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	•現在	E年1回しか実施	できて	いないが、年2回	実施	するのが望ましい	<b>\</b> °		

	0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
総合評価 (二次評価)	<ul><li>地域要が</li></ul>		保全す	するため実施して	いるか	、 合併特例期間	終了征	後は、全市的に実	施路	線を検討する必

5	予算編成(Action2)	※予算要求	<u>時記人</u>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出 (千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	1,000	1,000	0	1,000	1,000

	予算要求 の概要	•沿道清掃草刈	ทุษ							
	要求額 増減理由									
	①支所									
	作業時期により、国	作業時期により、国・県道との差が生じる。								
事業実	②本庁所管課 (維	②本庁所管課 (維持課)								
不実施の課題	地域住民により環境 齢化が進み作業がE			たが、集落間の	D距離もあるうえ	え過疎化や高				
	地域政策課	地域政策課								
	樹木花等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。									

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事	業名	947 枝	799	旧江戸街道保全事業	担当課			朝日支所 地域振興課	内線	
		番							3621	
	会	H	1	一般会計	<sub>仏</sub> 特		合併前から実施されているイベン	ト·行事		
予	款	7	9	教育費	位置付別予質	0	В	一般予算の上乗せとして実施されている		
算	項	į	4	社会教育費	1+ 昇		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業	
	B		7	文化財費	''		D	その他事業		
市	市長の約束		9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、 などの資源を保存活用する。	社会的に	価値	直が	ある有形無形の伝統文化や文	化財	

#### 1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	全市民	受益者数	93,312 人							
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	I 戸街道は、江戸時代、旅人や貨物輸送の主要な街道であった。この歴史的な街道から 地域豊かな自然、歴史や文化に触れ、自然保護や貴重な歴史ある地域資源を守るために 封道保全を行う。									
概要	事業の 実施手法 (手段)	街道草刈り等維持管理									
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント										

# 2 事業の推移・結果(Do) 指標名 単位 目標・実績 H21 H23見込 H24計画

東線値   1,600   1,6					1017571	# 127	口际大阪	1121	1122	11209632	1127日 四
実績値			1	古いに依然	<b></b>	<b>m</b>	目標値	1,600	1,600	1,600	7,500
選出根拠等   選成率(%)   100		汪	9	キバッド	F .	111	実績値	1,600	1,600	1,600	
操		動	算出	出根拠等			達成率(%)	100	100	100	_
日標値   実績値   一		指標			指標名	単位	目標·実績	H21 H22		H23見込	H24計画
実績値			<b>②</b>				目標値				
面 指標名 単位 目標・実績 H21 H22 H23見込 H24計			ú				実績値				-
面 指標名 単位 目標・実績 H21 H22 H23見込 H24計	成里		算品	出根拠等			達成率(%)				-
T	面				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
実績値 1,600 1,600 1,600			<b>①</b>	草刈り修約	盖	m	目標値	1,600	1,600	1,600	7,500
果   算出根拠等   達成率(%)   100		타	•				実績値	1,600	1,600	1,600	-
標   日標   日標   日標   日標   日標   日標   日標		果	算品	<mark>算出根拠等</mark>			達成率(%)	100	100	100	-
②     実績値     -       算出根拠等     達成率(%)     -       (人件費を除き繰越・補正を含む)     井21		指標		指標名		単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
実績値			(2)				目標値				
事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)       H21 決算額       H22 決算見込額       F9額       H24 実施計画 歳出 (千円)         歳出 (千円)       (A)       95       95       100         財 (万内 (万円)       受益者負担(使用料・負担金等)       0       0       0         こころの他特定財源(国・県支出金・起債等)       95       95       100         財 (ア内 (日)       日本記 (日)			_				実績値				-
(人件費を除き繰越・補正を含む)       決算額       決算見込額       予算額       実施計画         歳出 (千円)       (A)       95       95       100       95         財 受益者負担(使用料・負担金等)       0       0       0       0         内内 の の の の の の の の の の の の の の の の の の			算	出根拠等			達成率(%)				-
対   受益者負担(使用料・負担金等)				(人件費を							H24 E施計画額
できる。 これでは、				į	歳出 (千円) (	A)	95		95	100	545
A			受拍	益者負担(	使用料・負担金等)				0		0
指標名 H21 H22 H23見込 H24計画 コスト 受益者1件当たり(円) (A/B) 1 1 1 受益者 市民(4月1日現在) (B) 94,235 93,822 93,312 93	П	内	その	り他特定財	源(国・県支出金・起債等)		0		0	0	0
面     指標名     H21     H22     H23見込     H24計画       コスト     受益者1件当たり(円) (A/B) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		訳	— 舟	设財源			95		95	100	545
ス (1) 受益者 市民(4月1日現在) (B) 94,235 93,822 93,312 93 指標 ②					指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
ト     受益者     市民(4月1日現在)     (B)     94,235     93,822     93,312     93       指     ②		ス	<b>①</b>	受益者1件	当たり(円)(A	/B)	1		1	1	6
		上岩	)	受益者	市民(4月1日現在) (	в)	94,235	93,	822	93,312	93,200
		標	2								
<b>, 异</b>			算	出根拠等							

Ť		析・評価(Check) 評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など		
H	Π	п ш-х ц	A (2)	結びつく	ит пш	11 Imr 3 G 47 D/6-73-05 C		
	1	事業の実施が市の総合 計画・市長公約等の目標	-	一部結びつく	A	歴史的な価値がある江戸街道を保存することは		
		達成に結びつくか		結びつかない	1 ^	要性が高い。		
				非常に多い、急増している				
必 要	<b>②</b>	事業の実施に対する市 民のニーズの傾向はどう	B (1)		A	地域の豊かな自然や歴史文化に触れ、地域資源		
性	•	か		少ない、減少している	1 ^	をまもることは必要		
	-		A (2)	市民全体におよぶ				
	3	事業効果が市民全体に		概ね市民全体におよぶ	A	多くの市民に歴史的街道から歴史文化に触れて		
		及ぶか	C (0)	わずかな受益者に限定される	1 ^	らえるよう維持管理を行う。		
Н				十分に達成している (100%以上)				
	<b>(4</b> )	事業の活動・成果指標の	B (1)	概ね達成している (75%以上)	A	街道草刈り等実施し維持管理を行っている。		
	٠	達成状況はどうか		あまり順調でない (75%未満)	1			
	-		A (2)	有効である				
成果	<b>(5</b> )	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有	B (1)	概ね有効である	A	今後も江戸街道保全を行い、貴重な地域資源の		
面		効性	C (0)	見直しが必要である	1	有効利用を図る。		
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている				
	6	の解消、前年度の評価	B (1)		A	今後も江戸街道保全を行い、貴重な地域資源の 有効利用を図る。		
	_	結果や指摘事項等への 対応	C (0)	対応していない	1			
			A (2)	課題はない・解消されている				
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	  改善・工夫に取り組んでいる	А	草刈り等維持管理を毎年行うことで軽微な予算で保全できる。		
コス		告 工大	C (0)	対応していない	1	本主くさる。		
۲			A (2)	適正である				
面	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	Α	草刈り等維持管理を毎年行うことで軽微な予算で保全できる。		
			C (0)	改善が必要である	1	本土 くこる。		
成果			A (4)	適正である				
対	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	А	草刈り等維持管理を毎年行うことで軽微な予算 保全できる。		
コスト		II 英 0.77 愿 / 16 尼亚 / 1	C (0)	改善が必要である	1			
		合計		20.0 / 20.0	10	0点換算 100 /100		
		ни		20.0 / 20.0		100 /100		

#### 4 今後の方向性(Action 1)

	0	維持•改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	継続	が必要				

		0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	完了
総合調	平価)	・利活	5用につなげる必	要がる	ある。			

### 議会からの 提言等

### 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

_	ວ	了昇編队(Action2)	※ 丁昇安米	可記入			
		事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
		歳出(千円)	100	546	446	500	500
ı		国庫支出金					
ı		県支出金					
	源内	起債					
	訳	その他					
		地域振興特別予算	100	546	446	500	500

予算要求 の概要	旧江戸街道の整備にかかる経費
要求額 増減理由	草刈り路線の増
①支所	

朝日町黍生谷から高根町猪之鼻へ通じる江戸街道の内、朝日町側のみの整備であるため、高 根町側へ通り抜ける事が困難である。今後高根町と連携した取り組みが必要である。

### ②本庁所管課 (文化財課)

・文化財の保護、啓発は継続的に行うことが大切である。今後も支所間調整を含め、計画的な 事業実施が必要である。

#### 地域政策課

市内に数多くある街道の、整備すべき内容と優先順位を明確にしたうえで、施設の利用者増のためのPR等検討することが必要である。

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
市長査定	財務部調整どおり
の考え方	

事	事業名		99	地域振興事業補助金	担当課			朝日支所 地域振興課	内線	
		枝 番					361			
	会	H	1	一般会計	<sub></sub> 特	A 合併前から実施されてし			ト・行事	
予	款	ζ	2	総務費	置別 B			一般予算の上乗せとして実施されている事業		
算	項	Ţ	1	総務管理費	付算	0	С	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	E		9	企画費	"		D	その他事業		
市長の約束		京	4	個人・家庭・地域を大切にする社会を築き ・地域住民が自らの地域を改善、振興す 全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を	 る活動を		する	<b>らための地域振興特別予算を</b>		

1 事業の目的・概要(Plan)

	誰を(対象)	地域の団体	受益者数	1,890 人				
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	市民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進する。						
概要	事業の 実施手法 (手段)	市民自らが主体となって取り組む地域振興事業に対して	「補助金を交付す	· る。				
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント							

2 事業の推移・結果(Do)

				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		1	事件べて	を実施した件数	件	目標値	25	25	25	25
	ŗ	<b>(</b> )	地域 ノくり	を美胞した什数	1+	実績値	25	21		
	活動	算占	出根拠等		•	達成率(%)	100	84		-
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	1224	3	₩####################################	事業補助金の交付件数		目標値				
		2				実績値				-
成 果 面		算品	出根拠等			達成率(%)				-
不面				指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		1		事業補助金の交付件数	件	目標値	25	25	25	25
	#	•	心观派兴	<b>事未開助並の大門 干奴</b>	IT	実績値	25	21		
	成果指	算占	出根拠等 割	参加者数		達成率(%)	100	84		-
	指標			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2				目標値				
		·				実績値				-
		算は	出根拠等			達成率(%)				-
			(人件費を	事業費 除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込	H: 額 予算		H24 施計画額
			j	歳出 (千円) (	(A)	3,168	2,9	07	3,000	3,350
	14.1	受益	益者負担(化	使用料・負担金等)						
П	源内	その	D他特定財	源(国•県支出金•起債等)						
コスト	訳	—舟	<b>设財源</b>			3,168	2,9	07	3,000	3,350
ト 面				指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
	コス	1)	受益者1件	-当たり (円) (A	/B)	126,720	145,	350 1	120,000	134,000
	ト指	•	受益者	活動団体	(B)	25		20	25	25
	標	2								
		算	出根拠等	補助金総額/活動団体の	事業数	!				

		評価項目	評価基準			評価内容の説明など	
			A (2)	結びつく			
	1	事業の実施が市の総合 計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	А	市民が自ら行う事業であり、住み良いまちづくり 政策として重要性は高い	
		達成に結びつくか	<b>C</b> (0)	結びつかない		政策として主文は16回り・	
, čy		事業の <b>中</b> 体に払よる土	A (2)	非常に多い、急増している			
	2	事業の実施に対する市 民のニーズの傾向はどう	B (1)	ある程度のニーズがある	А	地域の市民の手による住環境整備、文化保存に 対する要望は非常に多い	
性		か	<b>C</b> (0)	少ない、減少している		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
			<b>A</b> (2)	市民全体におよぶ			
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	С	朝日町地域限定の事業である	
		237	<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される			
			<b>A</b> (2)	十分に達成している (100%以上)			
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	В	地域の住環境、伝統文化の保存に対して、十分記成している	
		272 77313.2 72	<b>C</b> (0)	あまり順調でない (75%未満)			
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である			
果	(5)	めの手法・活動内容の有	B (1)	概ね有効である	Α	地域の市民の自主的な手法により、地域の環境: 維持していくための、活動となっている	
面		効性 	<b>C</b> (0)	見直しが必要である			
		事業実施における課題	<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている		本来市が管理するべきものと、地域が管理するものとのすみ分けが難しいが、地域の理解を求め改善に取り組んでいる	
	<b>6</b>	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への 対応	<b>B</b> (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В		
			<b>C</b> (0)	対応していない			
			<b>A</b> (2)	課題はない・解消されている			
_	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	地域が計画した予算の内容を市の基準に合わせ て精査し、改善に取り組んでいる	
コス			<b>C</b> (0)	対応していない			
ト面			<b>A</b> (2)	適正である			
	8	受益者1件当たりのコスト	<b>B</b> (1)	概ね適正である	В	地域市民が自ら実施する事業として、規模も小さ 概ね適正である	
			<b>C</b> (0)	改善が必要である			
成果			A (4)	適正である			
_	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	В	事業の内容からして、修繕事業が多く、市が直接 実施する場合よりコストも低く、概ね適正である	
スト			<b>C</b> (0)	改善が必要である			

4 今後の方向性(Action1)

	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	▪平月	戊26年度まで継糸	売する				

総合評価 (二次評価) ・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応を検討	する必	3要がある。

<u>5</u>	<u> </u>	※	可記入			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	3,000	3,350	350	3,900	3,900
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	3,000	3,350	350	3,900	3,900

	予算要求 の概要	地域住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業に対す る助成
	要求額 増減理由	
	①支所	
事		
事業実施	②本庁所管課(地	域政策課)
美施の課題		
	地域政策課	

財務部査定 の考え方	要求どおりアンテナショップ運営補助金を追加
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事	事業名		999	地域要望対応事業	担当課		朝日支所 地域振興課		
		枝 番							3610
	会	i <del>l</del>	1	一般会計			Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	款	7	2	総務費	位置分		В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	į	1	総務管理費	计算	0	С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	E		9	企画費	ິ'		D	その他事業	
市	市長の約束		4	個人・家庭・地域を大切にする社会を築き ・地域住民が自らの地域を改善、振興する 全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を	 る活動を3		する	るための地域振興特別予算を	

1	事業の	日的:	概要	(Plan

	T / Y   I   I			
	誰を(対象)	地域の団体	受益者数	1,890 人
百合		地域の要望に対応する事業		
相要	事業の 実施手法 (手段)	地域の要望によりきめ細かな施設修繕事業を行う		
Ē	が回の評価からの 改善・改革 のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		<b>1</b>	事業実施し	+_*h	件	目標値	25	25	2	5 25
	Ţ	0	争未夫他し	こに奴	1+	実績値	25	21		
	活動	算品	出根拠等		•	達成率(%)	100	84		-
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	IXK	2				目標値				
		V)				実績値				-
成果面		算品	出根拠等			達成率(%)				-
未面				指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		1	事業実施し	<b></b>	件	目標値	8	11	1	0 10
	4	9	<b>学术大</b> 心(	J1⊂ <del>9X</del>	IT	実績値	8	11		
	成果指	算品	<mark>出根拠等</mark> (	牛数		達成率(%)	100	100		-
	指標			指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2				目標値				
		J)				実績値				-
		算出	出根拠等			達成率(%)				-
			(人件費を	事業費 除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込		23 算額	H24 実施計画額
			ī	歳出 (千円)	(A)	2,998	3,9	02	3,500	7,572
	14.1	受益	益者負担(何	使用料・負担金等)						
П	源内	その	り他特定財	源(国・県支出金・起債等)	)					
コスト	訳	— 甪	<b>投財源</b>			2,998	3,9	02	3,500	7,572
ト 面				指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
	コス	1)	受益者1件	·当たり(円) (A	/B)	119,920	195,	100	140,000	302,880
	۲	•	受益者	活動団体	(B)	25		20	25	25
	指標	2								
		算	出根拠等	補助金総額/活動団体の	事業数	!				

		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	Α	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり の政策として重要性は高い
		達成に結びつくか	C (0)	結びつかない		
Ď.		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		
要件	2	民のニーズの傾向はどうか	B (1)	ある程度のニーズがある	Α	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり 事業としてニーズは高い
±			<b>C</b> (0)	少ない、減少している		
			A (2)	市民全体におよぶ		
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1)	概ね市民全体におよぶ	С	朝日町地域限定の事業である
			<b>C</b> (0)	わずかな受益者に限定される		
			A (2)	十分に達成している (100%以上)		
	4	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	B (1)	概ね達成している (75%以上)	Α	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり 事業として充分達成している
			C (0)	あまり順調でない (75%未満)		
戓		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である		
₽	(5)	めの手法・活動内容の有	B (1)	概ね有効である	Α	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくり 事業として有効性は高い
面		効性 	C (0)	見直しが必要である		
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている		
	<b>6</b>	の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	市民が要望する事業であり、住み良いまちづくりと して即効性のある事業である
		対応	<b>C</b> (0)	対応していない		
			A (2)	課題はない・解消されている		
	7	コスト縮減に向けた改善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	Α	最小の費用で最大の効果を上げるよう取り組んだいる
コス			C (0)	対応していない		
ト 面			A (2)	適正である		
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1)	概ね適正である	Α	事業の必要性の高いものから実施しており、適正  なコストである
			<b>C</b> (0)	改善が必要である		
成果		- N. T 1 / 1	A (4)	適正である		
対 コ	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	B (2)	概ね適正である	Α	小規模な修繕事業であり、市民の要望の高さから 適正である
ス ト			<b>C</b> (0)	改善が必要である		
		合計		18.0 / 200	10	0点換算 90 /100

4 今後の方向性(Action 1)

議会からの 提言等

	0	維持·改善		拡大	縮小	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価		成26年度まで継着	売する				

0	維持·改善		拡大		縮小		廃止の検討		完了
<mark>総合評価</mark> (二次評価)	成26年度を終期と	:してい	る事業であり、幇	坑行内	容を精査し、27年	度以	降の対応を検討す	する必	要がある。

<u>5</u>	<u> 予昇編队(Action2)</u>	※	<u> </u>			
	事業費 (人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
	歳出(千円)	3,500	7,572	4,072	14,000	14,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源内	起債					
訳	その他					
	地域振興特別予算	3,500	7,572	4,072	14,000	14,000

	予算要求 の概要	公共施設等の軽微な修繕経費							
	要求額 増減理由								
	①支所								
事									
業	②本庁所管課(地	或政策課)							
事業実施の課題									
	地域政策課								

財務部査定	きめ細かな地域要望対応を推進
の考え方	(配分額の調整による)
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

事	業名	枝番	土地借上料	担当課			朝日支所 地域振興課	内線 3610
	会詞	†		<sub>位</sub> 特		Α	合併前から実施されているイベン	ト・行事
予	款	7		位置付行	0	В	一般予算の上乗せとして実施されてい	いる事業
算	項	ij		1+ <del>77</del>		С	終期を定めて実施する事業・単年	度事業
	目			''		D	その他事業	
市:	長の糸	京						

1 事業の目的・概要(Plan)

	T A V D F J 10	2 (1 id.1)		
	誰を(対象)		受益者数	
目的	どういう状態 にしたいのか (意図)	施設用地借上		
概要	事業の 実施手法 (手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借		
前	回の評価からの 改善・改革 のポイント			

2 事業の推移・結果(Do)

			/JE19 NL	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		1	施設用地	4	m²	目標値	28,454	28,454	28,454	28,454
	Ţ	U	他設用地	3	m	実績値	28,454	28,454	28,454	28,454
	活動	算は	出根拠等	土地賃貸借契約		達成率(%)	100	100	100	-
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2				目標値				
		ú				実績値				-
成 果 面		算品	出根拠等		1	達成率(%)				-
面				指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		(1)				目標値				
	成				実績値				-	
	<b>从果指</b>	算は	出根拠等		1	達成率(%)				-
	指標			指標名	単位	目標·実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		2				目標値				
						実績値				-
		算品	出根拠等			達成率(%)				_
			(人件費を	事業費 を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込		23 算額 写	H24 E施計画額
				歳出(千円) (	A)	910	9	10	910	898
	14.1	受护	益者負担(	(使用料・負担金等)						
口	源内	その	り他特定則	財源(国・県支出金・起債等)						
ス	訳	— 角	<b>投財源</b>			910	9	10	910	898
ト 面				指標名		H21	H22	H23	見込	H24計画
	コス	(1)	受益者1	件当たり(円) (A.	/B)					
	スト指	)	受益者	(	(B)					
	標	2								
		算	出根拠等							

		評価項目		評価基準	評価	評価内容の説明など
		事業の実施が市の総合	A (2)	結びつく		
	1	計画・市長公約等の目標	B (1)	一部結びつく	С	高齢者若者センター、鈴蘭シャンツエは市の総合計画、市長公約とは施設の現状から結びつかない
		達成に結びつくか	C (0)	結びつかない		
ıΝ		事業の実施に対する市	A (2)	非常に多い、急増している		
要性	2	民のニーズの傾向はどう	В (1)	ある程度のニーズがある	С	高齢者若者センター、鈴蘭シャンッエは市民が直接利用するケースは極めて少ない
ΊΞ		か	C (0)	少ない、減少している		
			A (2)	市民全体におよぶ		
	3	事業効果が市民全体に 及ぶか	B (1) 材	概ね市民全体におよぶ	С	高齢者若者センター、鈴蘭シャンツエは利用されないか極めて限られた受益者に限定される
			C (0) 1	わずかな受益者に限定される		
			A (2)	十分に達成している (100%)	評価	
	4	事業の活動・成果指標の 達成状況はどうか	B (1) 材	既ね達成している (75%)	(上) 対	
			C (0) d	あまり順調でない (75%ま	7h	
成		成果向上・目的達成のた	A (2)	有効である	評 価	
	<b>⑤</b>	めの手法・活動内容の有効性	B (1) 相	既ね有効である	対	
山		幼旺	C (0)	見直しが必要である	<b>分</b> 象	
		事業実施における課題	A (2)	課題はない・解消されている	評 価	
	<b>6</b>	の解消、前年度の評価 結果や指摘事項等への	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	対象	
		対応	C (0)	対応していない	<b>外</b>	
			A (2)	課題はない・解消されている		
	7	コスト縮減に向けた改 善・工夫	B (1)	改善・工夫に取り組んでいる	В	市の基準となるよう、地権者と交渉中である
コス			C (0)	対応していない		
ト面			A (2)	適正である		
	8	受益者1件当たりのコスト	B (1) 相	既ね適正である	С	市の基準に適合していない
- 15			C (0)	改善が必要である		
戊果力		成用に対するコフト/!	A (4)	適正である		
_	9	成果に対するコスト(人 件費も考慮)は適正か	- 1	既ね適正である	С	市の基準に適合していないため改善が必要である
スト			C (0)	改善が必要である		

4 今後の方向性(Action 1)

		維持·改善		拡大		縮小	0	廃止の検討	完了
次年度の 実施方針 (担当課評価)	施設	の撤去後、借地勢	型約を	解約し地主に返え	却する				

		維持·改善		拡大	0	縮小	廃止の検討	完了
総合評価 (二次評価)	·市の	)基準に近づくよ	5単価	交渉を継続する	必要か	<b>がある</b> 。		

議会からの 提言等

う ア昇編队(Action2)		了昇編队(Action2)	※ 丁昇安米	<u> </u>				
	事業費 (人件費除く)		H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額	
		歳出(千円)	910	898	Δ 12	898	898	
		国庫支出金						
財源内訳	県支出金							
	起債							
	その他							
		地域振興特別予算	910	898	Δ 12	898	898	

	予算要求 の概要	土地借上料						
	要求額 增減理由	単価の見直しによる						
	①支所	①支所						
	市の基準に近づく	市の基準に近づくような単価交渉の継続が必要						
事業	②本庁所管課(スポーツ振興課・農務課)							
事業実施の課題	施設の継続的運営のため、市基準額での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。							
	地域政策課							
	地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。							

	要求どおり
財務部査定 の考え方	
W.5.7.23	
	財務部調整どおり
市長査定	
の考え方	